

東京放射線

2019年1月号

Vol.66 No.768



公益社団法人 東京都診療放射線技師会
<http://www.tart.jp/>

卷

頭

言

年

頭

所

感

篠原健一

新春のつどい

平成30年度城南支部研修会

第83回日暮里塾ワンコインセミナー

第17回ウインターセミナー

第11回MR-I集中講習会

平成30年度第3地区研修会

2019年度関東甲信越診療放射線技師学術大会 演題募集要項

お知らせ

報

告

東

京

都

功

労

者

表

彰

新春企画

平成31年新春座談会「2019年関東甲信越診療放射線技師学術大会開催に向けて」

研修会等申込書

登録事項変更届

新年賀謹

平成31年 元旦

1 本年もよろしくお願ひいたします

理事（総務）	鈴木 雄一	委員長（第五地区）	稻毛 秀一
理事（経理）	関 真一	理事（第六地区）	高橋 克行
理事（庶務）	野口 幸作	委員長（第七地区）	富丸 佳一
理事（涉外）	高野 修彰	委員長（第八地区）	三富 明
会長	篠原 健一	理事（第九地区）	
副会長	白木 尚	理事（編集）	
副会長	石田 秀樹	理事（学術教育）	市川 重司
監事	葛西 一隆	理事（厚生調査）	江田 哲男
監事	野田扇三郎	理事（情報）	安宅 里美
顧問	中澤 靖夫	理事（広報）	長谷川雅一
委員長（第一地区）	増田 祥代	理事（SR推進）	渡辺 靖志
委員長（第二地区）	関谷 薫	理事（第十三地区）	鈴木 晋
理事（第三地区）	平瀬 繁男	理事（第十四地区）	鮎川 幸司
理事（第四地区）	引地 春枝	理事（第十五地区）	原子 満
事務局		理事（第十六地区）	工藤 年男

診療放射線技師 業務標準化宣言

いま我が国では「安心で安全な医療の提供」が国民から求められている。そして厚生医療の基本である「医療の質の向上」に向けて全ての医療職種が参加し、恒常的に活動をする必要がある。

私達が携わる放射線技術及び医用画像技術を含む診療放射線技師業務全般についても、国民から信頼される普遍的な安全技術を用いて、公開しなくてはならない。そして近年、グローバルスタンダードの潮流として、EBM (Evidence Based Medicine)、インフォームドコンセント、リスクマネジメント、医療文化の醸成、地球環境保全なども重要な社会的要項となっている。

公益社団法人東京都診療放射線技師会では、『国民から信頼され選ばれる医療』の一員を目指し、診療放射線技師の役割を明確にするとともに、各種業務の標準化システム構築を宣言する。

診療放射線技師業務標準化には以下の項目が含まれるものとする。

1. ペイシェントケア
2. 技術、知識の利用
3. 被ばく管理（最適化／低減）
4. 品質管理
5. 機器管理（始終業点検／保守／メンテナンス）
6. 個人情報管理（守秘／保護／保管）
7. 教育（日常教育／訓練／生涯教育）
8. リスクマネジメント
 - ～患者識別
 - ～事故防止
 - ～感染防止
 - ～災害時対応
9. 環境マネジメント（地球環境保全）
10. 評価システムの構築

公益社団法人 東京都診療放射線技師会

スローガン

チーム医療を推進し、 国民及び世界に貢献する 診療放射線技師の育成

2019年
JAN
CONTENTS

目 次

謹賀新年	1
診療放射線技師業務標準化宣言	2
巻頭言 年頭所感	4
会告1 「新春のつどい」のご案内	5
会告2 平成30年度城南支部研修会	6
会告3 第83回日暮里塾ワンコインセミナー	7
会告4 第17回ウインターセミナー	8
会告5 第11回MRI集中講習会	9
会告6 平成30年度多摩支部研修会	10
会告7 平成30年度SR推進委員会(公益・災害)研修会	11
会告8 平成30年度業務拡大に伴う統一講習会	12
お知らせ1 平成30年度第3地区研修会	13
お知らせ2 平成30年度第14地区施設見学	14
お知らせ3 平成30年度第12地区研修会	15
お知らせ4 平成30年度第8地区研修会	16
お知らせ5 第4地区・第16地区研修会(SART第2地区合同開催)	17
お知らせ6 平成30年度第5地区研修会	18
お知らせ7 平成30年度第6地区meeting	19
お知らせ8 2019年度関東甲信越診療放射線技師学術大会 演題募集要項	20
お知らせ9 東放技会員所属地区のご案内	25
東京都功労者表彰	26
新春企画 平成31年新春座談会 「2019年 関東甲信越診療放射線技師学術大会開催に向けて」	28
こ え	
・練馬区健康フェスタに参加して	37
・荒川河川敷清掃活動「荒川クリーンエイド2018」に参加して	38
・中央区健康福祉まつり2018に参加して	39
・城北支部研修会に参加して	40
・第17回城北支部研修会を終えて	41
パイプライン	
・日本消化器画像診断情報研究会 第31回東京大会	42
平成30年度4月～11月期会員動向	43
平成30年度第8回理事会報告	45
研修会等申込書	50
登録事項変更届	51

Column & Information

・求人情報	43
・イエローケーキ	44, 47
・学術講演会・研修会等の開催予定	48

2019年の表紙

いよいよ今年は関東甲信越診療放射線技師学術大会が東京で開催されます。さみだれの時期ですが、会間に見せる抜けるような青空をイメージした色にしました。大会当日が“五月晴れ”に恵まれますように。

巣から飛ぶ 燕くろし 五月晴れ

本年もより一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

編集委員会

卷頭言



年頭所感

会長 篠原健一

2019年を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は本会事業の推進につきまして、ご理解ご協力をいただき深く感謝申し上げます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

一般財団法人国土技術研究センターのホームページによると、日本の国土面積は全世界の0.28%ながら、他国に比べ、台風、大雨、大雪、洪水、土砂災害、津波、火山噴火が発生しやすく、全世界のマグニチュード6以上の地震のうち20.6%が日本で起こり、全世界の活火山の7.0%が日本にあるそうです。まさに昨年は、4月の島根県西部地震、6月の大阪北部地震、7月の豪雨、9月の北海道胆振東部地震、相次ぐ大型台風の襲来など災害が続いた年でした。被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。

日本(人)にとってうれしく誇らしいニュースもありました。本庶佑 京都大学名誉教授のノーベル生理学・医学賞受賞です。本庶氏は「サイエンスの力がない国には将来性がない。若手、次の世代を育てることが重要だ」と述べ、基礎研究への予算充実などの支援を安倍総理に要請したそうです。とても大切なことだと思います。

さて、今年はいよいよ関東甲信越診療放射線技師学術大会・東京大会を迎えます。2009年に日本診療放射線技師会の北関東地域・南関東地域合同での地域学術大会を東京のタワーホール船堀で開催し、関東甲信越1都9県輪番で昨年の新潟大会で一周しました。今年は二回り目、東京の一橋大学一橋講堂での開催となります。

一昨年の6月にキックオフミーティングを開催し、チーム医療推進と、みんなが一つの目的のために動くことの大切さを込め、大会テーマを『つながる医療 つなげる“和”～One for all, All for one～』として準備を進めてきました。昨年の11月1日にはホームページも公開し大枠のスケジュールは計画通りといったところですが、残り6カ月となりこれからが正念場です。現在の役員・委員だけでは到底成し遂げることはできない、というより現状の体制で進めていくだけで済ませてはいけない重要な使命を持った事業でもあると位置付けています。「次世代を育成し引き継いでいく」ということが大きな目的であり、多くの会員の皆さんに“参画”をしていただきたいと思います。将来性のある組織でなければなりません。2020年の創立70周年、2021年の第37回診療放射線技師学術大会+アジアオーストラレシア放射線技師学術会議（AACRT）にもつながる事業です。

2019年は日本にとっても東京都診療放射線技師会にとっても、私個人にとっても大きな出来事がある年です。平成になって御在位三十年となられた天皇陛下が退位され、皇太子殿下が新天皇に即位されます。ちなみに現皇太子殿下は私と同学年であられます。前記の通り東放技として10年ぶりの学術大会実施、日本で初というよりアジアで初のラグビー・ワールドカップ開催もあります。私の生涯で2度目の改元というのも、昭和だけで約30年生きた身として年齢を重ねた実感となっています。

思い返せば、前回の改元（平成元年）のときも結婚して長男が生まれるなど個人的に大きな出来事の年でした。皆さんそれぞれに新たな抱負を持って新年を迎えたことだと思います。皆さんにとってよい出来事があり、すばらしい年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

会 告 1

「新春のつどい」のご案内

年初めの恒例となっております、本会主催による「新春のつどい」開催のご案内を申し上げます。新春を迎えるにあたり、日頃ご交説を頂いております放射線関連・学校教育機構・関係諸団体・本技師会各位が一堂に会し、新年の抱負を語り、また、情報交換の場としてご歓談いただき、親交を深めていただきたいと存じます。お誘い合わせの上、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

開催日時：平成31年1月11日（金）18時30分～20時00分

（受付開始18時00分より）

開催場所：「ホテルラングウッド」 2階 凤凰の間

荒川区東日暮里5-50-5 Tel 03-3803-1234

交 通：JR日暮里駅南口下車 徒歩約1分

- 次 第：1) 開会のことば
2) 会長挨拶
3) 来賓挨拶
4) 乾杯
5) 懇親（名刺交換）
6) 閉会のことば



会 費：6,000円

新卒かつ新入会員^{*}の方は無料です。奮ってご参加ください。

問い合わせ：公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

※ 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

会告 2

平成30年度 城南支部研修会

テーマ「改正された放射線障害防止法と医療施設の対応」 —放射線障害予防規程作成にむけて—

講師：元国立がん研究センター中央病院治療部診療放射線技師長 小高 喜久雄 氏
東邦大学医療センター佐倉病院中央放射線部技師長補佐 伊藤 照生 氏

平成30年4月の放射線障害防止法の改正により、医療施設でも対応が求められています。城南支部委員会では経験豊富な2名の講師をお招きし、医療機関の立場になって改正法をどのように取り入れていけばよいか、第4条改正で本年4月より施行された施行規則等をどのように理解すればよいのか。また、来年の8月30日までに提出しなければならない予防規程の作成をどのように行えばよいのかなどを、ご講演していただく機会を設けました。放射線管理担当者のみならず、事務職など関係職種お説い合わせの上、皆さまのご参加をお待ちしております。

記

日 時：平成31年1月12日（土）14時00分～17時30分（受付開始13時30分～）

場 所：東邦大学医療センター大橋病院 臨床講堂
目黒区大橋2-22-36

受 講 料：診療放射線技師1,000円

新卒かつ新入会員*、一般ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>)
の参加申し込みフォーム（研修会申し込み
先は“城南支部”を選択）からお申し込みく
ださい。または会誌の研修会等申し込み用
紙にて事務所にFAXでお申し込みくださ
い。

問い合わせ：城南支部委員会

E-mail : shibu_jyounan@tart.jp

第15地区委員長（城南支部委員長） 原子 満
第11地区委員長 千葉利昭
第8地区委員長 三富 明
第4地区委員長 目黒一浩



以上

* 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

第83回日暮里塾ワンコインセミナー～入会促進セミナー～ 「～学術教育が選んだ発表演題～」

恒例となりました「学術教育が選んだ発表演題」です。平成30年度に発表された演題の中から興味深いものを厳選し、再度発表していただきます。参加できなかつた方、参加していたが聞けなかつたという方、再度聞きたい方など、多くの方のご参加をお待ちしております。

さらに毎年、この演題群の中から学術奨励賞、新人賞を選出しております。ぜひ参加していただき発表演題のアンケートにご協力ををお願い致します。

今回は入会促進セミナーということで参加費無料となっております。

～内 容～

- | | |
|---|----------------------|
| 1. 線量低減を目的とした骨盤撮影条件の検討 | 公立福生病院 鮎川 幸司 |
| 2. 放射線部門における外国人患者対応への取組みについて | 順天堂大学医学部附属順天堂医院 富原 潤 |
| 3. 遺物確認用画像処理パラメータを用いた、視覚評価による有用性の検討 | 大和会東大和病院 高橋 雄大 |
| 4. マンモグラフィ読影補助業務における乳腺構成分類の基準画像を用いた効果について | 昭和大学藤が丘病院 白川 裕唯 |
| 5. DWIBS検査における撮像方向の基礎的検討 | 昭和大学江東豊洲病院 西村 栄子 |
| 6. 超高精細CTにおける逐次近似再構成を使用した側頭骨CTの画質評価：
画像スライス厚および撮影線量1/2への検討 | 杏林大学医学部付属病院 山村 恒 |
| 7. CTガイド下生検における放射線防護ドレープを用いた被ばく低減の検討 | 公立昭和病院 圓城寺純至 |
| 8. 腰椎分離すべり症における単純X線画像を用いた形態学的特徴の検討—予後因子について | 昭和大学病院 山下 優夏 |
| 9. 夜間・休日救急診療における読影補助の取組みについて | 東京都保健医療公社大久保病院 五十嵐三紀 |
| 10. 胎児CTにおける自作ファントムを用いた胎児被ばく線量の検討 | 東邦大学医療センター大森病院 尾池 里紗 |

記

- 日 時：平成31年1月17日（木）18時30分～20時30分
 場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター
 　　〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505
 受 講 料：無料
 申込方法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“学術教育委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。
 カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修2.0カウント付与
 問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail : gakujitu@tart.jp
 　　公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX : 03-3806-7724 以上

会 告

4

第17回ウインターセミナー

テーマ「病室撮影（ポータブル撮影）の現状」

今回はポータブル撮影を取り上げます。

ポータブル撮影は日々行われており、撮影状況は多岐にわたります。今回は各施設でのポータブル撮影状況を拝聴し、現場での参考にしたいと思います。また、今回はポータブル撮影のアンケートを実施し、各施設の現状を報告します。多くの方のご参加をお待ちしております。

～ プログラム ～

15:00	病室（ポータブル）撮影の線量低減の工夫	公立福生病院 城尾 俊
15:15	救急撮影現場（初療室）での撮影の実際と注意点	災害医療センター 森屋和也
15:45	アンケート報告 ①条件（グリッドの有無、電圧、その他） ②体位（座位撮影、円背撮影、その他） ③技術（散乱線除去技術の有無） ④管理（日々点検、保守点検）	
16:05	病室撮影での実際～撮影法～	イムス葛飾ハートセンター 米澤俊和
16:35	病室撮影での実際～画像処理・線量～	杏林大学医学部付属病院 白川佑也

※内容については若干変更が生じことがあります。

記

日 時：平成31年1月26日（土）15時00分（受付開始14時30分～）

会 場：公益財団法人ライフ・エクステンション研究所付属 永寿総合病院

〒110-8645 東京都台東区東上野2-23-16

ア クセス：JR各線 上野駅浅草口より 徒歩約7分

地下鉄銀座線 上野駅 3番出口より 徒歩約5分

地下鉄銀座線 稲荷町駅 1・2番出口より 徒歩約6分

定 員：100名（先着順）

参 加 費：会員1,000円、非会員5,000円

新卒かつ新入会員*、一般ならびに学生 無料

申込方 法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“学術教育委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修2.5カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

※ 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

第11回MRI集中講習会

第11回MRI集中講習会を開催致します。各講義では専門試験問題の解説も含めて行い、本講習会用に出版した「MRI集中講習（改定版）」をテキストとして使用します（参加者には無料配布）。

多くの方のご参加をお待ちしております。

～プログラム～

13:00～13:40 安全管理（専門試験問題含む）

講師：みたかクリニック 渡辺 靖志 氏

13:40～14:40 原理（基礎）（専門試験問題含む）

講師：杏林大学医学部付属病院 宮崎 功 氏

14:40～15:40 パルスシーケンスおよび高速撮像法（パラレルイメージング）（専門試験問題含む）

講師：虎の門病院 高橋 順士 氏

15:40～16:10 ブレイクタイム

16:10～17:10 アーチファクト（専門試験問題含む）

講師：公立福生病院 野中 孝志 氏

17:10～18:10 脂肪抑制（専門試験問題含む）

講師：東京慈恵会医科大学附属柏病院 北川 久 氏

記

日 時：平成31年2月3日（日）13時00分～17時50分（受付開始12時30分～）

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：会員3,000円、非会員10,000円（当日徴収）

※講義に使用するテキストはMRI集中講習（改訂版）を使用（東放技配布）

申込方 法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“学術教育委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

定 員：50名（定員になり次第締め切ります）

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修5.0カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

平成30年度 多摩支部研修会

テーマ「パニック画像？？？～最初に画像を見るのはあなたです～」

講師：公立福生病院 医療技術部部長 市川 重司 氏

パニック値という言葉をご存知の方も多いと思われますが、生命が危ぶまれるほど危険な状態にある検査異常値を指し、緊急での救命処置が必要となります。昨今、画像についても同様で、救命処置が必要となる場合があります。検査を担当するわれわれが最も先に画像を見ることが多く、その時点での判断が予後に大きく影響することが考えられます。

今回は代表的なパニック画像を紹介し、皆さんで共有し、さらなる知識を増やしたいと思います。

～内 容～

頭部系：早期脳出血・早期脳梗塞

体幹系：大動脈解離・気胸・イレウス

記

日 時：平成31年3月8日（金）19時00分～20時30分

場 所：国分寺労政会館 第4会議室 東京都国分寺市南町3-22-10

ア クセス：JR中央線 国分寺駅 南口下車 徒歩約5分

定 員：80名

受 講 料：診療放射線技師1,000円

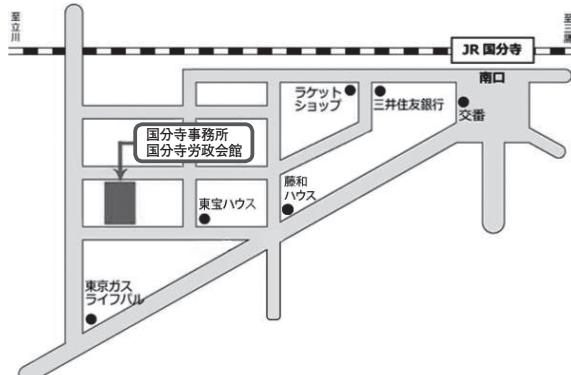
新卒かつ新入会員*、一般ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“多摩支部”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

問い合わせ：多摩支部委員会 E-Mail : shibu_tama@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX : 03-3806-7724

以上



* 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

平成30年度 SR推進委員会(公益・災害)研修会

テーマ「緊急被ばく医療講習会～3.11を風化させないために～」

講師：SR推進委員会

東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故にあたり、公益社団法人東京都診療放射線技師会では、発災直後の被災地におけるサーベイ活動、都内避難所における放射線サーベイボランティア活動など、放射線専門の職能団体として活動を行いました。これらの活動・経験を語り継ぎ風化させないために、本年度も研修会を企画しました。

2020年には東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。現在、政府は、2020年に向けた取組事項を公表しており、そのひとつとして「テロ対策・NBC災害対応力強化」を挙げ、対応策をとりまとめています。われわれも緊急被ばく医療（原子力災害時医療）に対する対応を十分に考慮しておく必要があると考えています。そこで、放射能汚染傷病者、もしくは汚染の可能性がある傷病者を自施設で受け入れるために必要なスキルについて、昨年度から一つずつ見直しております。

本年度はクイックサーベイについて再確認を行います。皆さまのご参加をお待ちしております。

～ プログラム ～

～ 3.11の経験とその後の対応を踏まえて ～

1. 緊急被ばく医療（原子力災害時医療）について
2. クイックサーベイ（概論）
3. クイックサーベイ（実習）

記

日 時：平成31年3月10日（日）13時00分～16時30分（受付開始12時30分～）
 場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター
 〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505
 アクセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分
 定 員：50名（先着順）
 受 講 料：会員1,000円、非会員5,000円（当日徴収）
 申込方法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“災害対策委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。
 カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修3.5カウント付与
 問い合わせ：SR推進委員長 渡辺靖志 E-Mail：saigai@tart.jp
 公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

会 告

8

平成30年度業務拡大に伴う統一講習会

主催：公益社団法人日本診療放射線技師会 実施：公益社団法人東京都診療放射線技師会

診療放射線技師法が平成26年6月18日に一部改正され、平成27年4月1日施行されました。具体的には、CT・MRI検査等での自動注入器による造影剤の注入、造影剤注入後の抜針・止血、下部消化管検査の実施（ネラトンチューブ挿入も含めて）、画像誘導放射線治療時の腸内ガスの吸引のためのチューブ挿入であり、診療放射線技師の業務内容が拡大しました。以上の業務を行うための条件として、医療の安全を担保することが求められています。この業務拡大に伴う必要な知識、技能、態度を習得することを目標とし、“業務拡大に伴う統一講習会”と称し、2日間にわたり実施することとしました。

本講習は厚生労働省と公益社団法人日本診療放射線技師会が検討したカリキュラムに従い、都道府県放射線技師会が講習会を運営し、一定レベルの講習会を全ての診療放射線技師が受講できる環境を提供することを目的としています。平成30年度の本会においての予定は下記の通りです。

記

受 講 料：会 員 15,000円、非会員 60,000円

但し、各種講習受講者減免として

会 員 静脈受講者：13,000円、注腸受講者： 5,000円、静脈注腸受講者： 3,000円

非会員 静脈受講者：50,000円、注腸受講者：35,000円、静脈注腸受講者：15,000円

申込方法：JART情報システム内のイベント申込メニューから申し込むこと。

注）東放技事務局および東放技HPからのお申し込みはできません。

受講料振込等：申し込み後、日放技より振込み先の案内があります。

講習会修了基準：次のいずれかに該当する場合は、修了とみなしません。

ア) 講習時間15単位（1単位50分）に対し、欠課の合計時間が45分を超えた場合

イ) 欠課が15分を超えたコマが1つ以上あった場合

生涯学習カウント：修了者は「学術研修活動」カウントが付与されます。

申込み期間：各講習会開催初日の2週間前を締め切りとします。

【第5回】

日 時：平成31年1月26日（土）9時20分～17時30分（受付開始9時00分～）
平成31年1月27日（日）8時30分～17時40分

場 所：東京都診療放射線技師会研修センター
東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505号

ア ク セス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

募 集 人 数：30名

【第6回】

日 時：平成31年3月2日（土）8時50分～17時10分（受付開始8時30分～）
平成31年3月3日（日）8時30分～17時30分

場 所：会場調整中

ア ク セス：未定

募 集 人 数：未定

以上

平成30年度 第3地区研修会

ティーチングファイル —ここがポイント—

テーマ「大血管の解剖から撮影・見つかる疾患」

今回は主に大血管について勉強をしたいと思います。血管の解剖・生理機能から撮像や治療方法まで皆まとめて学びたいと思います。また経過観察の多い部位なので撮影画像の再現性も大切になります。

今一度、復習をして理解が深まればと考えます。皆さまのご参加をお待ちしています。

～ プログラム ～

「血管の解剖・生理」

国立がん研究センター東病院 熊谷 大樹 氏

「血管造影CTの撮像方法」

東京医科大学病院 平瀬 繁男 氏

「血管撮像—撮影から見つかる疾患」

東京医科大学病院 松本 亘 氏

記

日 時：平成31年1月29日（火）19時00分～20時30分（受付開始18時30分）

場 所：東京医科大学病院 教育研究棟 4階第2講堂

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-7-1

アクセス: 東京メトロ丸ノ内線西新宿駅より 徒歩約1分、JR新宿駅西口より 徒歩約1分

受講料：診療放射線技師500円

新卒かつ新入会員*、一般ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“第3地区”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

その他、直接下記メールアドレスまで
件名『第3地区研修会』にて送信をお願
いします。

問い合わせ：第3地区委員長 平瀬繁男

E-Mail : area03@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所

現在、工事中です。

◆青梅街道側からお入り下さい



以上

※ 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

お知らせ

2

平成30年度 第14地区施設見学

第14地区では本年度の行事として病院見学を行います。

昨年開設された松戸市立総合医療センターを見学します。見学内容は放射線部門を中心に行います。近隣施設の皆さまのご参加をお待ちしております。

記

日 時：平成31年2月16日（土）15時00分～17時00分（受付開始14時30分～）

場 所：松戸市立総合医療センター 2階ドトールコーヒー前集合
千葉県松戸市千駄堀993-1

ア ク セ ス：JR北松戸駅より 新京成バス「松戸市立総合医療センター」行き

病院前駐車場については有料となっております。北松戸駅よりバスをご利用ください。

定 員：20名（事前にお申し込みください）

受 講 料：無料

申込方 法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“第14地区”を選択）からお申し込みください。

問い合わせ：第14地区委員長 宮谷勝巳 E-Mail：area14@tart.jp

第14地区委員 高林正人 E-Mail：masa10-takabay4@ma.point.ne.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

<p>土曜日 北松戸発バス時刻表 「松戸市立総合医療センター」行き</p>
<p>12時 06分 13時 41分 14時 18分、48分 15時 18分、48分 16時 21分、49分</p>

平成30年度 第12地区研修会

テーマ「学会発表への道 ～ネタ探しのコツから英文発表まで～」

講 師：公立福生病院 医療技術部部長 市川 重司 氏

多くの方は“学術発表”と聞くと敷居が高く敬遠しがちなイメージがあるかもしれません。いざ発表するとなつても、ネタ探しはどうするのか？ 何から手を付ければいいのか？ 質問されたらどうしよう？ など不安なことが頭に浮かんでくることもあります。そんな悩みを東京都No.1の演題発表数の病院を築き上げた学術発表のプロ中のプロに解決していただきます！

基礎、実践、コツ、教育、裏技、マル秘話?! など盛り沢山の内容です。学術発表の必要性や日常業務に役立つ理由を再確認してみてはいかがでしょうか。これから学会デビューする方はもちろん、職場で指導する役職の方もぜひご参加ください。お待ちしております（なお、当日は講演の最後に、お手本として福生病院の診療放射線技師から、実際発表した演題を発表していただきます）。

記

日 時：平成31年2月22日（金）19時00分～20時30分（受付開始18時30分～）

場 所：佐々総合病院 三号館 4階ホール

アクセス：西武新宿線 田無駅北口より 徒歩約3分

受講料：診療放射線技師500円（当日徴収）

新卒かつ新入会員*、一般ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“第12地区”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

問い合わせ：第12地区委員長 鈴木 晋 E-Mail：areal12@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX: 03-3806-7724

以上



※ 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

お知らせ

4

平成30年度 第8地区研修会

テーマ「その照射野は細胞に何をもたらすのか」

講 師：杏林大学保健学部診療放射線技術学科 石川 純也 氏

人々の放射線影響への関心が高まり続けている昨今、科学的根拠に基づいた高い識見や正確な説明が診療放射線技師には求められています。その要望に応えるためには、礎となる細胞から個体レベルの放射線影響について知識を改め、十分に理解を深めなければなりません。そこで本研修会では、これまで蓄積されてきたヒトの知見に基づき細胞の生存や増殖、活性酸素種の産生量、さらにDNA損傷頻度などの指標を根拠とする放射線影響の一端を概説します。自らが設定したその照射野の先で何が起きているのか、診断領域で用いられるような低線量域で起こり得る放射線影響を再考する機会となれば幸いです。

記

日 時：平成31年2月23日（土）16時00分～17時30分（受付開始15時30分～）

場 所：東邦大学医療センター大森病院 5号館地下1階 臨床講堂

〒143-8541 東京都大田区大森西 6-11-1

ア クセス：JR蒲田駅 東口2番バス乗り場から「大森駅」行きに乗車「東邦大学」下車すぐ
JR大森駅 東口1番バス乗り場から「蒲田駅」行きに乗車「東邦大学」下車すぐ
京浜急行 梅屋敷駅 徒歩7分（各駅停車にご乗車ください）

受 講 料：診療放射線技師500円

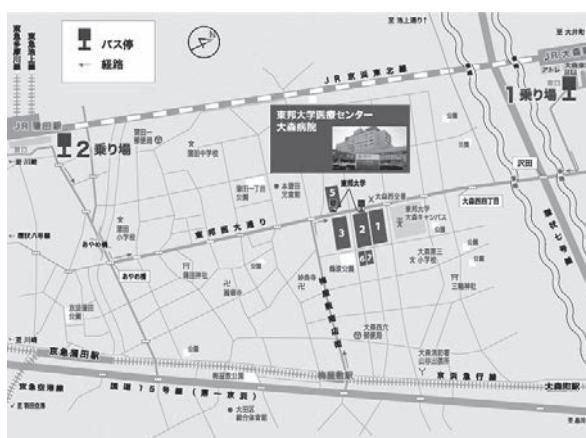
新卒かつ新入会員*、一般ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は
“第8地区”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。（※当日参加も可能です）

問い合わせ：第8地区委員長 三富 明 E-Mail：area08@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上



* 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

第4地区・第16地区研修会 (SART第2地区合同開催)

テーマ「骨軟部 撮影セミナー2019～更なるスキルアップを目指して～」

記

日 時：平成31年2月24日（日）10時00分～18時00分

場 所：JR東京総合病院 東京都渋谷区代々木2丁目1-3

ア クセス：JR新宿駅 南口・甲州街道改札・新南改札より 徒歩約5分

JR代々木駅 北口より 徒歩約5分

都営大江戸線新宿駅 A1出口より 徒歩約1分

小田急線南新宿駅より 徒歩約5分

受 講 料：2,000円

申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“第16地区”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

問い合わせ：第4地区委員長 目黒一浩 E-Mail : area04@tart.jp

第16地区委員長 工藤年男 E-Mail : area16@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX : 03-3806-7724

以上

セッション1 10:00 ▶ 11:00	MRIセッション	座長 上尾中央総合病院 石川 応樹
-------------------------	----------	-------------------

「軟部腫瘍MRIを好きになろう！」

①「撮像のための基礎知識」

②「症例から得られる軟部腫瘍MRIのポイント」

埼玉石心会病院

諸田 智章

東京慈恵会医科大学附属柏病院

栗山 和

セッション2 11:10 ▶ 12:10	メーカーセッション	座長 JR東京総合病院 後藤 太作
-------------------------	-----------	-------------------

「ランチョンセミナー（3社20分）」

セッション3 12:40 ▶ 13:10	救急セッション	座長 埼玉医科大学総合医療センター 大根田 純／東京都済生会中央病院 目黒 一浩
-------------------------	---------	--

「外傷患者における撮影方法の工夫」

獨協医科大学埼玉医療センター 遠藤 駿登

セッション4 13:20 ▶ 14:20	DRセッション	座長 埼玉医科大学病院 堀切 直也
-------------------------	---------	-------------------

①「画像処理技術と活用方法」

上尾中央総合病院 樋口 誠一

②「粒状性低減処理を知って線量低減を考える」

済生会川口総合病院 戸澤 倭太

セッション5 14:30 ▶ 15:40	パネルディスカッション	座長 東京大学 田部井 勝行
-------------------------	-------------	----------------

「骨単純X線撮影領域における検像の現状と問題点～より良い一般撮影業務を目指して～」

①埼玉医科大学病院 林 洋希 ③上尾中央総合病院 茂木 雅和

②東京慈恵会医科大学附属病院 茂木 正則 ④昭和大学病院 安田 光慶

教育講演 15:50 ▶ 16:50	「(教育講演)」	座長 春日部市立医療センター 工藤 年男
-----------------------	----------	----------------------

「放射線部門におけるヒューマン・エラー対策の人間工学的アプローチ」

人間総合科学大学人間科学部 教授 佐藤 幸光 先生

特別講演 17:00 ▶ 18:00	「(特別講演)」	座長 東京メディカルクリニック 荒木 智一／所沢ハートセンター 大西 圭一
-----------------------	----------	---------------------------------------

「骨軟部画像診断について（仮）」 東京メディカルクリニック画像検査センター 顧問／学校法人慈恵大学 名誉教授 福田 国彦 先生

※駐車券はございませんので公共交通機関をご利用ください

お知らせ

6

平成30年度 第5地区研修会「第5地区のつどい」

テーマ「3次救急施設における診療放射線技師の業務」
～日本医科大学付属病院 重症部門のご紹介～

講 師：日本医科大学付属病院 放射線科主任 平井 国雄 氏

今年度も毎年好評をいただいております第5地区研修会「第5地区のつどい」を開催致します。この研修会は、演者と皆さまが活発に議論することにより、知識を深めることを趣旨とした勉強会です。

今回のテーマは救急医療機関における診療放射線技師の業務です。救急医療における多職種が連携することによって成り立つチーム医療の中で、迅速で正確な診断や治療支援の役割を担う診療放射線技師の関わり方はとても重要となります。

そこで、国内で高度救急救命センターの第1号認定施設である日本医科大学付属病院より講師を招き、三次救急施設における放射線診療の中でも重症例を扱う診療部門と診療放射線技師の関わり方や撮影のコツなどについてご講演いただきます。救急診療に興味のある方はもちろん、新入職員の方などもお誘いあわせの上、たくさんのご参加をお待ちしております。

また、研修会後は情報交換会を予定しております。ご参加いただいた皆さまの交流をさらに深めて地域医療の発展に繋げていただければ幸いです。

記

日 時：平成31年3月1日（金）19時00分～20時00分（受付開始18時30分～）

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：診療放射線技師500円

新卒かつ新入会員*、一般ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“第5地区”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

※当日参加可能ですが、会場のスペースの関係で事前登録者を優先させていただく場合がございます。できる限り「事前申し込み」をお願い致します。

問い合わせ：第5地区委員長 稲毛秀一 E-Mail：area05@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務局 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

* 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

平成30年度 第6地区meeting

テーマ「撮る＆診る～二つの視点から～」

こんにちは、第6地区です。今年も年度の最後に“若手・学生”をメインとした研修会を行います。なかなか教わる機会がない、検査数が少なくてコツがつかめない方、ちょっと不安に思う方、再度勉強し直したい方……etc. 知識と経験のある大先輩、あの工藤先生をお呼びしてご教授いただきます。また、近年は施設によって撮影内容も各々変わってきておりますね。例えばリハビリ使用目的の撮影。リハビリ目的の撮影は立位？座位？臥位？どこを見たい？リハビリでわれわれの画像をどのように見て活かしているのか、何を欲しているのかを理学療法士の根本先生にもご講演いただきます。

撮影技術は生きていますっ！ 生ものでっす！ 鮮度を保ちましょうっ！ X線画像一枚撮るだけでもチーム医療が大切ですっ！ 分からないこと、うまく撮るコツは、技師会の先輩、情報を持っている人に聞けばいいんですっ！

われわれ第6地区meetingではそれを提供致します。一緒にになって学びましょう。ぜひ一度お越しください。何かつかんで帰路に着ける会にできるように頑張ります。先輩・後輩・他学校出身者・他地区の皆さん、分けてなく一緒に学びましょう。第6地区委員一同お待ちしております。

「一般撮影（四肢）」

春日部市立医療センター 工藤年男

「理学療法士として放射線画像に期待すること」 イムス東京葛飾総合病院リハビリテーション科 根本伸洋

「活動報告」 中央醫療技術專門學校 學 生

記

日 時：平成31年3月2日（土）16時00分～18時30分（受付開始15時30分～）

場所：中央医療技術専門学校 視聴覚室 〒124-0012 東京都葛飾区立石3-5-12

アクセス：京成押上線「京成立石駅」下車 徒歩7分（各駅停車をご利用ください）

受講料：会員500円、非会員500円 新卒かつ新入会員*、一般ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“第6地区”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。※当日参加も可能です。

問い合わせ：第6地区委員長 高橋克行 E-Mail：area06@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX: 03-3806-7724

以上



※ 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

2019年度関東甲信越診療放射線技師学術大会 演題募集要項

【1】応募資格

一般セッションの発表者は、日本診療放射線技師会会員で平成30年度会費完納者に限ります。ただし、診療放射線技師養成機関に所属する学生または外国籍の方はこの限りではありません。

【2】募集期間

2018年12月3日（月）正午～2019年2月15日（金）終日

【3】発表形式

- (イ) 一般セッション（口述発表）
- (ロ) インターナショナルセッション（口述発表）
※発表言語・スライドは英語のみ、質疑応答は日本語または英語
- (ハ) 学生セッション（口述発表）

【4】登録方法

- (イ) ホームページの「演題登録」ボタンよりご登録ください。
※インターナショナルセッションへ応募される場合は、該当の登録ボタンよりお進みください。
- (ロ) 登録には演題区分（【9】を参照）、発表者名、発表者所属機関名、発表者会員番号、共同研究者名、共同研究者所属機関名、共同研究者会員番号が必要です。
- (ハ) 一般セッションと学生セッションでは抄録（本文全角600字以内）が必要です。
インターナショナルセッションでは英文抄録（200単語以内）が必要です。
- (ニ) 演題受領通知は、e-mailで登録時、修正時にその都度連絡します。受領メール（1週間以内）が届かない場合は、運営事務局（endai2019@tart.jp）までお問い合わせください。
- (ホ) その他、登録制限は下記の通りです。
演題タイトル：全角80文字以内
抄録に図表の挿入はできません。
共同研究者は最大10名、所属機関は最大10施設まで登録可能です。

【5】演題の採否、演題区分、発表形式、日時について

- (イ) 応募演題の採否、演題区分、日時は、プログラム委員会で決定します。決定後の変更は一切認めません。
- (ロ) 演題採用通知は3月末日までにメールにて申し込み者全員に通知します。
※応募演題の内容が優れた場合であっても、他の関連学会や研究会ならびに地域学術大会などで発表されたもの、または明らかに内容が酷似していると判断されたものについては、プログラム委員会で不採用の決定をする場合があります。
- (ハ) 応募演題については、基礎研究、応用研究のいずれにおいても研究倫理に十分な配慮がなされたものであり、発表内容に関しては発表者が最終責任を負うこととします。

【6】研究の倫理面に関する注意事項について

応募演題の研究の内容により、厚生労働省などによる倫理指針および所属施設が定めた倫理規定を順守することが必要です。また人間を対象とした研究では、あらかじめ所属施設などにおいて倫理審査委員会などによる審査・承認を得ていることが必要です。

【7】利益相反の開示について

産学連携による臨床研究の適正な推進を図り、科学性・倫理性を担保に遂行された臨床研究成果の発表における中立性と透明性を確保するため、全ての発表者に「利益相反 (Conflict of Interest ; COI)」の開示を求めます。演題登録画面の「利益相反の有無」の入力欄で「ある」または「ない」をご選択ください。「ある」の場合、利益相反に関する申告書をご提出いただく必要があります。詳細につきましては、日本診療放射線技師会ホームページをご覧ください。

【8】注意点

- (イ) 提出いただいた抄録は、学術大会の演題コンテンツの一部として大会ホームページなどに掲載しますので了承をお願いします。
- (ロ) 演題登録は原則として専用サイトを利用したオンラインのみとします。オンライン登録はインターネットに接続でき、本人の電子メールが利用できる環境が必要です。
- (ハ) 演題登録の受け付けは、申し込み時に登録いただいたメールアドレスに電子メールで連絡します。確認メールが届かない場合は未登録扱いとなりますので、運営事務局まで問い合わせてください。そのまま放置された場合、事務局では一切の責任を負いかねます。

【9】演題領域区分

1. 医療基礎

- | | |
|-----------|--|
| 1 医療社会倫理 | 医療技術の進展に伴って生じる臨床上の問題、インフォームドコンセント、接遇（患者とのコミュニケーション・接遇、五感の不自由な患者への対応、セクハラ防止）、AIなど |
| 2 チーム医療 | チーム医療への取り組み（実践例）・がん医療 |
| 3 カウンセリング | 放射線カウンセリング学の研究、調査、教育 |
| 4 その他 | どの区分にも該当しない演題 |

2. 放射線管理

- | | |
|------------|---------------------------|
| 1 放射線被ばく | 医療被ばくやその低減、従事者などの被ばくやその低減 |
| 2 被ばく管理 | 放射線管理、管理用装置機器 |
| 3 放射線計測・測定 | 計測技術など |
| 4 その他 | どの区分にも該当しない演題 |

3. 機器管理

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1 機器管理、保守管理 | 機器管理、保守管理 |
| 2 医療機器安全管理責任者講習 | 医療機器安全管理責任者講習に関する実践 |
| 3 その他 | どの区分にも該当しない演題 |

4. 医療安全

- | | |
|-------------|--------------------|
| 1 医療安全 | 医療安全、インシデント・アクシデント |
| 2 リスクマネジメント | リスクマネジメント |
| 3 教育・研修 | 新人教育研修、中堅教育研修 |
| 4 その他 | どの区分にも該当しない演題 |

5. 医療画像

1 読影	読影の実践
2 医療画像精度管理	感光材料、信号検出能、画像表示装置、画像評価
3 医療画像情報管理	医療情報システム、医療データ保存・管理、画像圧縮技術、画像通信
4 その他	どの区分にも該当しない演題

6. 教育

1 人材育成	中高生への進学指導など地域での取り組み、オープンキャンパスなど教育機関での取り組み
2 技師教育	診療放射線技師養成機関での教育、新人教育・中堅教育・管理職教育、機器関連・医療情報関連メーカーの診療放射線技師の教育など
3 OJT (On-the-Job Training)	施設内教育・教育訓練
4 その他	どの区分にも該当しない演題

7. X線撮影

1 画像評価	MTF、画像処理技術
2 臨床応用	撮影技術、臨床評価
3 造影	造影手法、効果、副作用
4 被ばく・放射線計測	DRLなど
5 装置・関連器具	補助具、固定具など
6 その他	どの区分にも該当しない演題

8. X線CT検査

1 画像評価	MTF、NPS、画像処理技術
2 臨床応用	撮影技術、臨床評価
3 造影	造影手法、効果、副作用
4 被ばく・放射線計測	CT-AEC、CTDI、DRL
5 装置・関連器具	area detector、dual energy CT、固定具
6 その他	どの区分にも該当しない演題

9. MRI検査

1 画像・臨床	撮像技術、臨床技術
2 性能評価	性能評価、アーチファクト
3 機能描出・MRS	Diffusion、Perfusion、fMRI、ASL、MRS
4 血管関連	MRA、MRV、ブラークイメージ
5 薬剤関連	造影剤、その他薬剤
6 装置・器具関連	コイル、シミング、装置開発、関連器具
7 安全・保守管理	吸引、発熱、神経刺激、問診
8 その他	どの区分にも該当しない演題

10. 血管撮影

1 撮影技術	撮影方法・撮影プログラム
2 装置管理	始業点検、メンテナンス
3 画像評価	画像処理技術
4 被ばく管理	システム
5 読影	技師による読影補助、遠隔読影システム
6 安全管理	教育、マニュアル
7 臨床応用	臨床評価
8 その他	どの区分にも該当しない演題

11. 消化管撮影

1 物理特性	物理評価、画像処理技術
2 精度管理	機器、システム、被ばく
3 撮影技術	撮影技術、手法
4 臨床応用	症例、ヘリコバクターピロリ、ABC検診、内視鏡
5 その他	どの区分にも該当しない演題

12. 超音波検査

1 腹部領域	肝臓、胆嚢、脾臓、腎臓、脾臓、膀胱、消化管、肝造影検査
2 体表領域	甲状腺、乳腺、乳腺造影検査、表在、整形
3 循環器・血管領域	心臓、頸動脈、上下肢動脈
4 その他	どの分野にも該当しない演題

13. 核医学

1 SPECT	脳、心臓など
2 PET	臨床、その他
3 一般	核医学検査総論、機器の精度管理など
4 その他	どの区分にも該当しない演題

14. 放射線治療

1 外部照射	放射線治療技術、X線、電子線、シエル・固定具など技術評価
2 IMRT	IMRT、定位放射線治療
3 小線源治療	RALS、組織内照射、腔内照射、モールド照射
4 治療計画	品質保証、品質管理、計算アルゴリズム
5 保守管理	精度管理、精度検証
6 その他	どの分野にも該当しない演題

15. 乳房撮影（マンモグラフィー）

1 物理特性	物理評価、画像処理技術
2 精度管理	機器、システム、被ばく
3 臨床応用	撮影技術、臨床評価
4 その他	どの区分にも該当しない演題

16. 骨密度検査

1 画像・臨床	撮像技術、臨床技術
2 精度管理	機器、システム、被ばく
3 その他	どの区分にも該当しない演題

17. 疾病・臓器

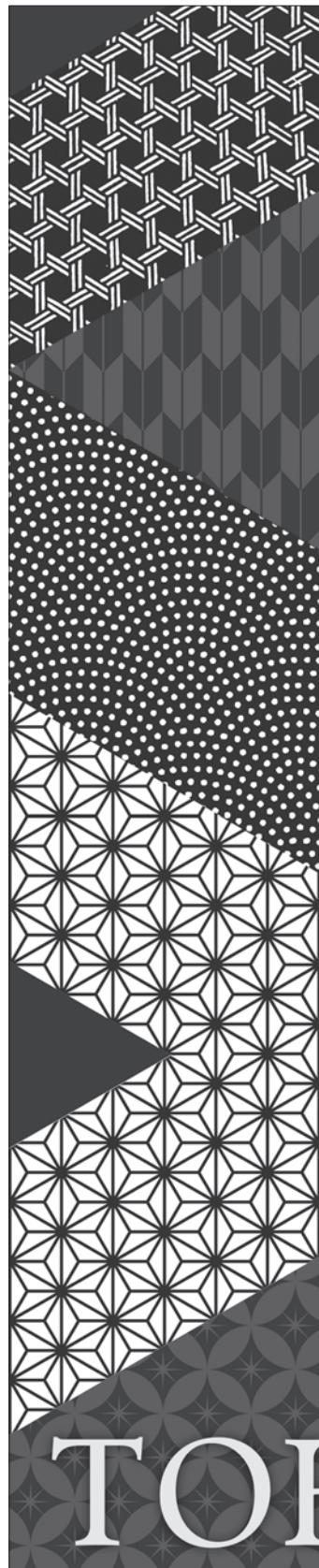
1 頭頸部	
2 胸部	
3 腹部	(超音波、一般撮影、MRI、CTなど複合のモダリティーの画像から有用であった臨床についての発表)
4 骨・軟部領域	
5 循環器	
6 その他	どの区分にも該当しない演題

18. その他

1 その他	上記いずれのセッションにも含まれないとと思われる診療放射線技師に関する演題
-------	---------------------------------------

<大会事務局> 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

<運営事務局> 株式会社クバプロ

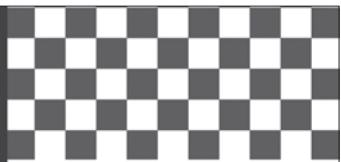


TOKYO

2019年度 関東甲信越 診療放射線技師学術大会 つながる医療 つなげる和 One for all, All for one

2019年度

2019年
6月29日土・30日日



【主催】

公益社団法人日本診療放射線技師会
公益社団法人東京都診療放射線技師会
一般社団法人群馬県診療放射線技師会
一般社団法人山梨県診療放射線技師会
一般社団法人栃木県診療放射線技師会
公益社団法人神奈川県放射線技師会
公益社団法人茨城県診療放射線技師会
一般社団法人千葉県診療放射線技師会
公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
一般社団法人長野県診療放射線技師会
一般社団法人新潟県診療放射線技師会

【実施】

公益社団法人東京都診療放射線技師会

【大会長】

篠原健一

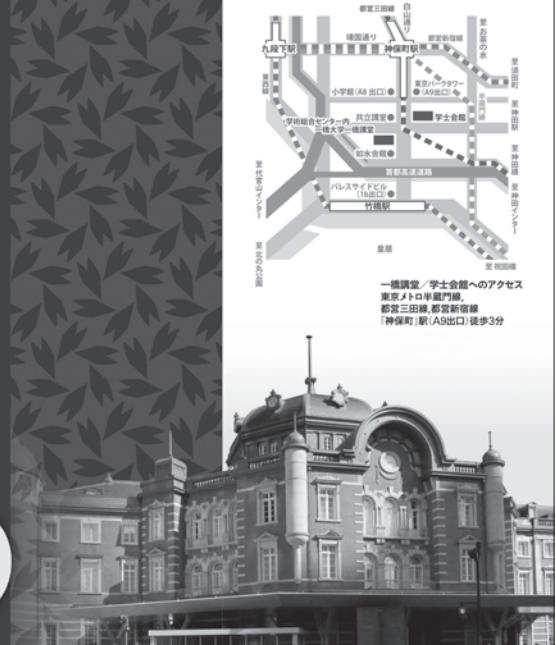
公益社団法人東京都診療放射線技師会会长

【会期】

2019年
6月29日土・30日日

【学会会場】
一橋大学一橋講堂

【情報交換会会場】
学士会館



あなたはご自分の所属地区をご存じですか？

東京都診療放射線技師会は、東京を13の地区に分け、東京に隣接する千葉方面・神奈川方面・埼玉方面を加えた計16地区で構成されています。

本会ホームページhttp://www.tart.jp/に各地区の表と地図が掲載されていますので、ぜひご活用ください。

トップページの
ここをクリック

東京都診療放射線技師会からのお知らせ

お知らせ

地区紹介ページ

2014年度
研修会・イベント等の開催予定

会員登録

入会のご案内

入会のご案内

2014/10/17 【お知らせ】平成26年度「電離箱式サ...
2014/10/01 【お知らせ】地区紹介ページを更新しま...
2014/10/17 【研修会】第41回日暮里塾ワンコイン...
2014/10/06 【研修会】第4地区研修会（開催日12/4...
2014/10/06 【研修会】第1地区研修会（第2回）（1...
2014/10/06 【研修会】第3地区研修会（開催日11/2...
2014/10/06 【研修会】城南支部研修会（開催日11/...
2014/10/06 【研修会】第1地区研修会（第1回）（1...
2014/10/06 【研修会】第16地区研修会（TART・S...
2014/10/06 【研修会】第40回日暮里塾ワンコイン...
2014/10/06 【研修会】第13地区研修会第39回日暮...
2014/10/06 【研修会】第17回メディカルマネジメ...
2014/10/06 【研修会】第38回日暮里塾ワンコイン...
2014/09/06 【研修会】第6地区研修会（開催日10/3...
2014/09/06 【研修会】第53回きめこまかな生涯教...

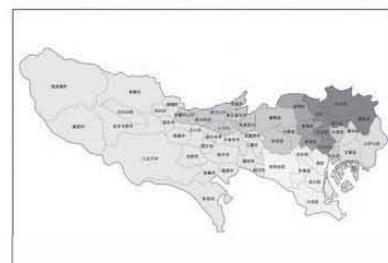
なお、毎月月替りで、各地区の特色や活動を紹介しています。
地区表の上の地区名からリンクしていますので、こちらもぜひご覧ください。

情報委員会



第1地区	第5地区	第9地区	第13地区
第2地区	第6地区	第10地区	第14地区
第3地区	第7地区	第11地区	第15地区
第4地区	第8地区	第12地区	第16地区

城東支部	第1地区	千代田区	
	第2地区	中央区	台東区
	第3地区	豊田区	江戸川区
	第4地区	千葉方面地域	千葉地域
城南支部	第4地区	港区	渋谷区
	第5地区	品川区	大田区
	第6地区	世田谷区	目黒区
	第7地区	神奈川方面地域	神奈川地域
城西支部	第8地区	新宿区	
	第9地区	世田谷区	
	第10地区	練馬区	中野区
多摩支部	第11地区	大蔵区	北区
	第12地区	狛江市	豊島区
	第13地区	稲城市	杉並区
	第14地区	西東京市	清瀬市
	第15地区	小平市	東村山市
	第16地区	武蔵村山市	東大和市
	第17地区	上記、第1-2地区以外の多摩地域	



東京都功労者表彰



社会医療法人社団森山医会 東京脳神経センター病院
(元 森山記念病院 診療放射線技師長 兼 事務長)

た が わ ま さ と
田 川 雅 人

昭和31年1月25日生 (62歳)

職歴

昭和54年5月	森山病院	入職
平成14年12月	社会医療法人社団森山医会 森山記念病院	異動
平成15年4月	中央医療技術専門学校 非常勤講師	入職
平成16年3月	同	退職
平成28年8月	社会医療法人社団森山医会 東京脳神経センター病院	異動
	現在に至る	

団体歴

平成11年4月～平成13年3月	社団法人東京都放射線技師会 第7地区委員
平成13年4月～平成26年5月	社団法人東京都放射線技師会 理事 (第7地区委員長)
平成26年6月～現在に至る	公益社団法人東京都診療放射線技師会 第7地区委員

賞罰歴

なし

東京都功労者表彰を受けて

田川雅人

この度、平成30年10月1日に東京都功労者表彰を受賞致しました。受賞に至る際、篠原会長はじめ、理事の皆さまより推薦していただき、このような名誉ある賞を拝受することができました。心より感謝申し上げます。功労賞には12項目の功労名があり、「労働精励」という功労名での受賞です。“職務に精励し、特に優れた業績をあげた方”が対象とされています。

私の診療放射線技師職歴は33年間、1施設にて勤務し現在も勤務しています。東京都放射線技師会活動も、あっという間に十数年経ってしまったという感覚です。特別に大きな業績や自慢できるような活動が出来ていたのか？と、自問自答してみると反省点ばかりです。思い起こせば、たくさんの仲間に助けられ、励まされたからこそ、続けて来られたことをひしひしと感じます。今までに、診療放射線技師会の皆さまをはじめ、職場、友人、家族など、私に携わる全ての方々があったからこそその受賞と考えています。これからも業務や活動に精励してまいります。

重ね重ねではありますが、皆々さまに感謝申し上げるとともに、ご健勝とご活躍されることを祈念申し上げます。

田川雅人様の東京都功労者表彰の祝辞

会長 篠原健一

この度の平成30年度東京都功労者表彰（知事表彰）におきまして、本会会員として多年にわたりご活躍された田川雅人様が受賞されましたことをご報告し、心よりお祝いを申し上げます。このことは都民の医療・福祉の第一線で活動している本会会員にとりましてもまことに誇りと名誉ある受賞であり慶びに堪えません。

田川様は昭和54年に森山医会森山病院（現森山記念病院）に勤労学生として入職、昭和59年に診療放射線技師免許を取得し以来30年以上の永きにわたりこの道一筋に奉職されました。医療機器の発展にともない、各種撮影技術の習得に努め、診療放射線技師に求められる診療画像情報を正しく的確に提供することに努められました。

救急診療の合間を縫って症例検討会を行い、患者さんの苦痛軽減の撮影体位・撮影方法・被ばく低減にいたるまでスタッフへの指導を行い、脳神経疾患をはじめ交通災害の多発外傷や胸腹部内科疾患など多くの疾患に対して地域救急医療に貢献されました。

本会においては、平成11年4月から現在まで第7地区委員を務め、そのうち平成13年4月から平成26年5月までは実に13年の長きにわたり地区理事（委員長）に就任されております。

第7地区は中小の病院が多いため、資格を取ってすぐ一人勤務をする方も多く、田川様は他施設間での交流を深めることが重要と考えました。基本事項や各種技術を学んでもらうため、技師会の活動を周知し技師会事業への参加を呼び掛けました。入会促進や技師会活動の活性化にも貢献されました。

この度の田川様の受賞は、診療放射線従事者としての技術発展・地域医療に対するご功績が高く評価されたものであります。今後とも本会の発展と後進のために更なるご指導を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、田川様の益々のご健勝をお祈りしお祝いの言葉とさせていただきます。

2019年 関東甲信越 診療放射線技師学術大会 開催に向けて



大会長
篠原健一



大会実行委員長
白木 尚



大会副実行委員長
渡辺靖志



大会プログラム・
学術チーフ
市川重司



大会総務チーフ
野口幸作



大会編集チーフ
浅沼雅康
(企画担当)

新年を迎えて

篠原大会長：皆さん、2019年を迎えて、明けましておめでとうございます。

一同：明けましておめでとうございます。



篠原大会長：本年もどうぞよろしくお願ひ致します。

今年の新春座談会ですが、2019年は関東甲信越診療放射線技師学術大会の東京開催年ということで、大会実行委員長、副実行委員長、総務、プログラム・学術の責任者の皆さんにお集まりいただきました。どうぞよろしくお願ひします。

一同：よろしくお願ひします。

大会開催に向けて

篠原大会長：関東甲信越の1都9県で輪番の学術大会が昨年の新潟で一巡し、10年ぶりにまた東京に戻ってまいりました。本会では、開催

2年前にあたる昨年の9月にキックオフミーティングを行い、チーム医療推進と皆がひとつの目的のために働くことの大切さを込めて、大会テーマを「つながる医療、つなげる和～One for all, All for one～」として準備を進めてまいりました。

最初に皆さまにはそれぞれの立場からこの学術大会への意気込み、あるいは実現したいことなどをざっくばらんにお話しいただければと思います。

では、まず白木尚実行委員長からお願ひします。

白木実行委員長：私からはまず経過報告を簡単にご説明致します。本学術大会は2019年、まさに今年6月に開催するわけですが、平成29年度4月の理事会で、篠原会長から「実行委員長に白木副会長はどうでしょうか？」とご推薦いただき、理事の皆さまのご賛同を得てスタートとなりました。すでに1年9ヶ月が経過していますが、あっという間の1年9ヶ月で、半年後には本番がスタートするわけです。

まずは渡辺副実行委員長と二人で会場探しから始めて、昨年6月の第1回理事会で提案させていただき、学会会場については一橋講堂、情報交換会は学士会館に決定致しました。

平成29年度6月総会の少し前に、専門部理事を中心に数名に加わっていただき15名でキックオフミーティングを開催し、役割分担やロードマップ等が確認され、その後、企画委員会という名称で取り組みがスタートしました。

コアメンバーでの企画委員会は、平成30年度6月の総会までに13回開催され、大枠が決められていきました。テーマについてはなかなか決定に至らず、数カ月間ブレーンストーミングなどを行う中でようやく、冒頭会長からご説明があった「つながる医療、つなげる和」、サブタイトルが「One for all, All for one」に決定しました。この「つなげる和」も、「和」の文字は元理事で書道家の大室氏にお願いして、6種類程筆で書いてくれた中から選ばれ、今ポスターになっている文字を使うことになりました。その後、30年度の総会以降、新たに実行委員会として予算を組んでスタートし、具体的な部分を進めているわけです。



少し前後しますが、企画会議でプログラムの素案や市民公開講座の設定、あるいは最初に担当割り振りなど、今後の進め方、ロードマップなどを再検討していくわけですが、大枠が決まった時点で、実行委員会では実際のホームページの内容やプログラムを、この後お話になる市川プログラム・学術担当の責任者から——チーフと呼んでいますが——詳細なものもだんだんとできてきました。今日ここにはいませんが、広報チームのチーフの安宅さんが素晴らしいPRビデオを作ってくれて、そのPRビデオを基に、30年度開催の新潟で実行委員が皆で舞台に上がって、次大会開催についてのプレゼンを致しました。

また「つながる、つなげる」のこのテーマは、ブレーンストーミングにて皆で決定しましたが、発端は確か篠原会長だったかと思います。サブタイトルの「One for all, All for one」は、私は日頃からモットーにしているので、ぜひ使いたいということで決まったわけです。

「つながる、つなげる」にはチーム医療の推進が含まれていますね。「One for all, All for one」にも、これからプログラムの中にも具体的に組み込んでいくと思いますが1人の患者さんに対して、スタッフ皆で、チームの仲間で協働していきたいという思いが込められています。

これぐらいにしておいたほうがいいでしょうか？（笑）実行委員長としてごく簡単に経過報告を説明申し上げました（笑）。

篠原大会長：実行委員長はさすがに意気込みが大きいですね。

続いて副実行委員長の渡辺靖志さん、よろし

くお願いします。

渡辺副実行委員長：よろしくお願ひします。先ほどの説明の通り副実行委員長を拝命致しました。副実行委員長といっても、実際にはたいしたことはしていないのですが、まずはそれぞれの部門にリーダーを立てさせていただいて、今ここにいらっしゃる市川理事や野口理事、他にも広報や経理関係など、コアとなる人にお願いをしてまわりました。

2009年にこの関東甲信越学術大会が始まって、第1回が東京で開催されています。今回の実行委員会の主たるメンバーは前回の東京大会も経験されている方々で、おそらく経験していないのは私だけではないかと思います。そういった意味では、特別心配もなくお願いして、またそのお願いにしっかりと答えて作ってもらえた、というところで本当に感謝しています。

最初にテーマが確定した時にはすごくいいテーマだと思いました。実際の学会の中でこういったチーム医療や次世代継承といった意味で、「つながる、つなげる」ということをテーマにいろいろ模索をしてきました。また今後、いろいろ学会などもあると思いますが、そのときに中心になって働く実行委員会の人たちの世代交代も起こってきます。そういう意味でも将来の東京都診療放射線技師会が担当する学術大会やイベントをしっかりと取り仕切ってくれるような若い世代もどんどん引き込んで、ノウハウを蓄積してもらいたいと思っています。そのためには、キックオフミーティングから始まった今大会のこれまでの経緯などをしっかりと記録して、若い人たちに伝えていくまでが私の仕事だと思っていますので、学会が成功裏に終わ

ることがひとつの目標ですが、その先、次世代の人たちにもしっかりと伝えられるような形として残しておきたいとも思っています。

篠原大会長：ありがとうございます。続いてプログラム・学術のチーフ、市川重司さんからお願ひします。



市川チーフ：プログラム関係を担当しております市川です。

個人的には、今学術大会でコアになる部分を担当させていただき、東放技で学術・教育を担当している理事として、総決算といった形で捉えています。そして首都東京で開催する学術大会にふさわしいようなものをと、大会長、実行委員長、副実行委員長などの皆さまの意見を踏まえながら、奮闘しております。

昨年12月から始まった演題募集も順調に推移していて、徐々に集まっているといった状況です。今後さらに中身を固めていかなければいけないと思っていますが、この大会テーマにふさわしいものに作り上げるのが私の責務だと思っています。そして副実行委員長が言われたように、「つなげる」というのはさらにいろいろな意味に解釈できると思います。その切り口を投げかけられるような学術大会であればいいと思っています。そのために多方面からのご協力を得ながら、進めているところです。

年が明けて、おそらくもうあっという間に開催時期が来るのではないかと思いますが、楽しみにしてその日を迎えるような時間を過ごしたいと思っています。

篠原大会長：ありがとうございます。続いて、学会の運営の基本的な準備と当日の受付など、学





会運営の縁の下の力持ちである総務チーフ、野口幸作さんお願いします。

野口チーフ：総務関係を担当している野口です。私も10年前、第1回関東甲信越診療放射線技師学術大会の時からお手伝いをさせていただきました。その時も受付関係、総務関係を担当させていただきました。受付というのは一番混むし、一番バタバタする。

今回の私のテーマは、受付関係がよりスムーズにいくように、システムを使ってうまく流していく。「一番混んでいる会場はどこ?」「受付!」と言われないように事前の準備も当日の対応もやっていければいいかと思っています。

それからもうひとつ、できるだけ多くの人が参加できるような施策をいろいろと考えていきたい。これから提案していきますが、例えば子どもがいるから参加できないという人にも、小学生以上なら参加できる、というような状況に持っていったり、可能であれば託児所などと連携をして、小さいお子さんがいても参加できるような…。みんなでいろんな方策を考えて実行委員会で提案していけたらと思っています。

準備期間について

篠原大会長：ありがとうございます。皆さん、それぞれの立場で色々と準備を続けています。開催まであと半年となったわけですが、これまでの準備で大変だったことや、残り少ない時間で解決しなければならないことなど、何かあれば聞かせて頂けますか？

私としては、ひとつ思っているのは、今年、本学会と同じ年に同じエリアで埼玉県が全国大会を開催するということで、埼玉県の組織委員会の田中会長ともずっと話していますが、お互いに何かいい協力、協調を進めていければ、と話しています。双方にとって有益となるような協力態勢を取りたい、ということを埼玉県の皆さんとも話しています。

3年後に東京が開催する全国大会およびAACRTにもいい協調を築くひとつのきっかけになると思って、お互いに協力し合えることでひとつの形になればいいかと思っています。

では皆さんからも、今までの「こんなことが大変だった」や「これはあと半年で準備しなければいけない」など、何かあればご意見をお願いします。

白木実行委員長：実は私は2回目ではなく1回目の学術大会です。前回開催時はちょうど役員をお休みしていて関わっていません。率直に申し上げて、渡辺副実行委員長の支えがあって順調に進んで来られたと本当に思っています。またホームページが立ち上がるまでの最初の部分ではポスター制作などいろいろありましたが、最初の時期では、例えば編集を担当してくれた編集チーフの浅沼理事や、ホームページ制作では安宅理事、広報の部分がどうしても先行しなければいけないので、大変だったのではないかと思っています。

また学術企画では、市川チーフにご尽力いただき、プログラムは本当に素晴らしいものでできたと思っています。市民公開講座もそうですが、「つながる、つなげる」で、学術委員会で例年ずっと実行している、多職種によるシンポジウムもこの大会でさらにしっかりと企画がされています。「つながる」部分では日本放射線技術学会 東京支部と毎年合同講演会を開催してきて、今回で18回になりますが、この学術大会で初めて合同シンポジウムということで、学術大会も互いに協力していこうということになりました。

それと先ほど「つなげる和」も、和みの「和」の文字ですが、同じ「和」でも翌年開催される五輪の「輪」も意識していて、どちらの漢字にしようかというところも実はありました、「絶

対この『和』でしょう」と決まったわけです。

またオリンピック招致にちなんでスポーツ関係も取り入れたい、ということで、大会特別講演で今年はラグビーのワールドカップを日本で開催するわけですが、おそらくその関係者の方の講演も行う予定になっています。

篠原大会長：他の方はいかがでしょうか。

野口チーフ：先ほど渡辺副実行委員長も世代交代という話をされまして、いろいろな人にお手伝い願って、いろいろな方を巻き込んで、楽しんで一緒にやって行ければいいと思っております。受付スタッフや会場スタッフの方々もできるだけ多く引き込んで、本人たちも講演なり発表なりを聞いて学んで自分のレベルアップという部分も考えないといけませんので、スタッフの交代制なども踏まえて、皆が高めあっていくようなシステムの提案をしたいと思います。

篠原大会長：他に皆さん、いかがでしょうか。

市川チーフ：それでは具体的な企画を少しだけお話しします。本大会は2日間開催されるわけですが、その中で何か東京らしい特徴を出したいと思うのは、実行委員皆さんの希望だと思います。そういう中で市民公開講座を2つ、そして大会特別講演がラグビー関係の方のご講演、それから先ほどお話をしても多職種の共同参画も順調に進んでいます。これは「ペイシエントケア学術大会」企画から引き継いでいるようなもので、その開催支部が合同学術講演会のこの形にしようということです。

また学術・教育を担当している私としては、「きめこまかな生涯教育」です。これは東京都診療放射線技師会を代表する勉強会のひとつです。今回は、この「きめこまかな生涯教育」と



いうネーミングのままで企画することに期待をしております。近隣の方々も、「あの勉強会が拝聴できる！ 参加してみよう！」と思っていただけると幸いです。

それからもうひとつはモーニングセミナーです。過去に他県での開催歴がありません。遠方から来られる方もいるので、朝、軽食を取りながら、講演を拝聴していただきます。頭にも入り、お腹にも入り(笑)、満足度の高い企画となっております。もちろん将来を担う学生たち、そしてインターナショナルセッション、今後国際化して歩んで行かなければいけないような企画に関してもしっかりと演題募集をして、今、目標として100演題を掲げて進んでいるところです。

2日間盛りだくさんで、どこに行っても、どこの会場も「ためになる！」「面白い！」そんな大会にしたいと、進めているところです。

篠原大会長：ありがとうございます。プログラムのことも含めて、副実行委員長のほうで残りの半年で、準備について何か大変なところはありますか？

渡辺副実行委員長：皆で話し合って決めるようなことはもうほぼ決まっていて、あとは当日に向けてどういった準備をしていくか、という段階に入っていますので、これから当日の運営マニュアルなど、そういった部分に入っていきます。そのときには、何度も言いますが、今のスタッフに加えて、地区の委員や委員会の委員さん、また東京都診療放射線技師会で今までそういう役割を担っていなくても、会員の中でも「私も参画したい！」という人にはぜひ入っていただいて、当日の運営をどう盛り立てるか、



ということをこれからいろいろ決めていかなければいけないところが、今は大変なところでしょう。

最初に会長もおっしゃいましたが、これまで大変だったというのは——ずっと大変といえば大変ですが——最初に企画というか、「では始めましょう」という時に、大まかなロードマップのようなものを作って始めたのですが、最初の数カ月はあまり進みません。

いろいろ意見を交わして、それでもなかなかひとつに定まらない。そんな時期があって、白木実行委員長もやきもきしながら、という時期がありました(笑)。

しかし、それはそれで大事な時期で、そうやって意見を交わす、何も決まらなくても、皆がこの大会に向けて気持ちを持っていくために少しふワワしたというか、そういった時期も確かにありました。

それもある程度は想定内で、概ね1年前からいろいろ物事が決まり始めます。それも実際に動いてくださっている皆さんがある程度頭の中で自分たちなりにだいたいスケジューリングもできていたのではないかと思います。

私の作ったロードマップが、予定より遅れていくような、「そろそろスケジュールをずらさないといけないかな…」という、そんな時期になってくると、また急に物事がどんどん決まっていく、というような、結果的にはそんなまとまりがありましたので、ずっとソワソワ、不安になるなど、気持ちとしては落ち着かない状況

にはいますが、それぞれ経験値の高い人たちが集まって、意見を出し合って、結果的にいいものがどんどん生まれている状況だと思います。

大変な時期というのはひとつではないので、なかなか難しいですね。ただ間違いなく大会当日の2日間が一番大変だろうとは思いますので、そこに関しては、今、野口チーフもおっしゃっていましたが、やり直しが効かないで、しっかりと慎重に、いろいろなことを想定しながら、来ていただく皆さんに満足いただけるようなおもてなしができるように準備を進めていきたいと思います。

篠原大会長：ありがとうございます。

たぶん立場によって、それぞれ少しずつ感覚は違うのかもしれません、例えばキックオフした時期や準備期間は、皆さんそれぞれ、どうでしたか？ 短かったです？ 今、半年後というのを迎えた時点で、感覚的にどうですか？ 適切な準備期間でしたか？

野口チーフ：私はそのように思っています。皆さん仕事を抱えているし、やはりお尻に火が付かないで動き出さない、動けないという部分もあるので、昨年、新潟でアピールするという、そこに向けて走り出したことが一番良かったのかなと、個人的には思っています。

白木実行委員長：私はあっという間だと思っていましたが、2年という準備期間は妥当だったと思います。野口チーフも言われたように、1年に1回目標があって、さらにその半年後の目標、ホームページの立ち上げなど、目標が具体的に





なった時点でどんどん進んできたので、そういう面で2年間というのは適切な期間だと思います。

篠原大会長：感覚的には、当然時間はずっと連続しているけれども、例えば新年になると一気に進むようなイメージというか、ずっと続きながらもあるところで「グッ」と進むというか、感覚的にそういう部分はあって、カウントダウンなどもいい具合にしてきたような気はしています。

渡辺副実行委員長：新潟大会で「さあ1年切ったぞ」というところが、おそらくギアが1つ上がったところかなというのはあります。

篠原大会長：新年で「いよいよ今年だ」ということもあります、今度は4月になると「今年度だ」という、そうなると、「もう3カ月しかない」などと思いますが、だんだん「がくっ」「がくっ」と進むような時期になってきたと思っています。

白木実行委員長：学術大会だけに「がくっ」と進むのです…。あれ、これはあれですか…？（笑）

次の世代に向けて

篠原大会長：……はい、そろそろ締めさせていただきますが（笑）、今年も含めた中期的なこと、関東甲信越だけではなくて、全般的なことや個人的なことでもいいです。目標設定などがあればどうぞ。せっかくの新春座談会ですから。

私は個人的には、今年60歳になるので、漠然とですが、少し身の回りを整理したいと思

ます。具体的に何というわけではないですよ。あくまでも漠然と…。

それから今年の関東甲信越、来年の本会創立70周年、先ほども言った再来年の全国大会プラスAACRTと、3年連続で大きな事業が続いていくわけですが、この3年間のわれわれの事業を、今のこの役員、このスタッフで、学生の文化祭のように、打ち上げ花火のようにして燃え尽きてしまうようなことにしてはいけないと思っています。先ほどもどなたかがおっしゃっていましたが、ぜひ次世代、あるいは人材を育てていくという、たぶん学術大会を成功させるのと同じぐらいのウエイトで、そういう大きな意味を込めなくてはいけないと思っています。

それは暗に皆さんに「もうこれで引退してください」というのではないですよ（笑）。

白木実行委員長：そうかと思いました（笑）。

篠原大会長：そのためには、もちろん、学術大会ですから参加登録が多いのはもちろんですが、東京都診療放射線技師会に関しては、運営に参画していただく方、われわれと一緒に働いていただける方を募って、そうして次世代につながるようにしていきたいというのが、全般的な願いです。そういうふうに思っています。

皆さん、いかがですか。

白木実行委員長：私も会長と同じように今年で60才になります。まさに大会テーマの通り、つなげていきたいと思っています。このサブタイトルの「One for all, All for one」は、まさに技師会活動もその通りではないかと思っていて、一人では難しいことも、こうして皆で、まずは実行委員で集まることによって具現化してきています。当日はおそらく実行委員100名ぐ





らいの人数でつなげていくのではないかと思います。当日の2日間はかなり大変になると思います。またその直前も結構バタバタと大変になるかと思いますが、苦労があればあるほど喜びも大きいとも思っているので、残り半年を「一緒に苦しみながら楽しむ」というか、当日の解放感を目指して頑張っていきたいと思っています。以上です。

渡辺副実行委員長：私も技師会の活動の中では、今年の自分の一番大きなイベントはこの学術大会になると思いますので、まずはそこに注力していきたいと思います。また終わった後に、次大会への報告もあるし、後の人たちのためにきちんとした資料としてまとめ上げるという仕事も残っていますので、今年度の前半は、この仕事をしっかりと仕上げるというところに注力していきたいと思っています。後半はどうですかね…。まだそこまで何も考えられないところではありますが、そうですね。今はこの学術大会で頭がいっぱいという感じです。

会長と実行委員長と違うのは、引退までまだ10年と少しありますので、きちんとつなげる、バトンを直接渡す役割をしっかりと担っていきたいと思っています(笑)。

市川チーフ：長く学術・教育を担当させていただき、各種企画を開催してきました。その中で、苦しんだこともありますので、それ以上に達成感もありました。そういう中で、節目として今年は学術大会を迎えるわけです。私のみではなくて、関わる人全員がこの達成感を味わって、そしてまたそこから新たな歩みが始まるわけです。そ

こにいろいろな人に参画していただきたいと私は思っています。そのために今何をしなければいけないのかということは、実行委員の皆さまはおのれので分かっておられると思います。そして次世代がそれを引き継いでいくというシナリオをいつも頭に浮かべながら動いています。難しいとは思いますが、その通りになってくれればいいですね。でもそういうひとつのビジョンのようなもの、道のようなものを一緒に歩みたいとは常常思っています。そういうことを若い人に聞いてもらい、「おっさんだな」と思うのかもしれません(笑)、「しょうがないな」とつきあってくれればいいな、と僕は思っています。

篠原大会長：どうですか。野口さん、最後に何かありますか？

野口チーフ：私は、先ほど会長も市川チーフもおしゃっていましたが、今年の学術大会、来年の70周年、再来年の全国大会、それを「まるっと3年間技師会活動を楽しもう！」それだけです。



篠原大会長：私としては、皆さん一人一人、それぞれから「楽しもう」とか、そういう言葉が出たので、もう本当にほっとしています。中で苦しみ、あえいでいるというのではなくて、そういうふうに言ってくれて、とてもうれしかったです。

市川チーフ：たまに言うことです、歯を食いしばりながら楽しめます(笑)。

篠原大会長：中澤前会長がよく「技師会活動を楽しもう」とおっしゃっていました。

白木実行委員長：そうですね。言っていましたね。

篠原大会長：その精神が皆さんに引き継がれてい

るのだと、私もしっかり引き継いでいきたいと思います。

市川チーフ：叩き込まれたのかもしれませんね(笑)。

篠原大会長：それでは最後に、本日はお集まりいただきありがとうございました。

今年の関東甲信越診療放射線技師学術大会の準備、それから当日の運営を楽しみたいと思いますので、よろしくお願ひします。

一同：よろしくお願ひします。ありがとうございました。



本座談会開催場所、公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センターにて集合写真

2019年
6月29日㈯・30日㈰

一橋大学一橋講堂
東京甲信越
放射線技師学術大会

りる和
師学術大会
One for all,
All for one

2019年
6月29日㈯・30日㈰

一橋大学一橋講堂
東京甲信越
放射線技師学術大会

りる和
師学術大会
One for all,
All for one

2019年
6月29日㈯・30日㈰

一橋大学一橋講堂
東京甲信越
放射線技師学術大会

19年度
東京甲信越
放射線技師学術大会
りる和
One for all,
All for one

TOKYO

TOKYO

練馬区健康フェスタに参加して

日本大学医学部附属板橋病院 市川篤志

平成30年10月21日（日曜日）練馬区豊島園で練馬区健康フェスタが開催され、参加させていただきました。今回初めての参加となり、何をして良いのか戸惑いましたが、長谷川理事をはじめ広報委員の方々による丁寧な説明を受け、無理なく楽しく一日を過ごすことができました。それと私が会場に到着したときには、すでに機材の準備も設営もほぼ終わっている状態だったので、広報委員の方々には休日の朝早くからご準備をしていただき重ね重ねありがとうございました。

健康フェスタが始まってみると豊島園という場所柄、かなりの賑わいで多くの来場者もあり、さすが練馬区健康フェスタという感じでした。

東京都診療放射線技師会のブースは、骨密度測定と被ばく相談でした。骨密度測定は、私たち東京都診療放射線技師会だけでなくNPOの団体も骨密度測定をされていました。測定をされた方の中には、2台の装置の比較をされる方もいて「結果がそれぞれ違うけど、どうしてですか」という質問もあり大変苦慮致しました。人出も多かったこともあり予約券

を配布したのですが、あっという間に全部配布してしまい、健康に対する関心の高さをうかがわせる結果となりました。

被ばく相談では、「CTやMRIを今年2回受けているけど大丈夫でしょうか？」や「歯科用CTでは、どの範囲まで撮影されていますか？」といった質問がありました。被ばくについての質問だけでなく技術的な質問もあり、診療放射線技師業務に対する関心度は、高まりつつあるのではないかと思いました。ただ、ご年配の方の中には、ブースの前で何度も東京都診療放射線技師会と復唱する方もいて、まだ認知度は低いのかと思わされる場面もありました。今回のような催しに参加し、お手伝いをさせていただけたことは私自身、貴重な体験であり、一般の方々に対し診療放射線技師を世間にアピールするとてもよい機会だと考えております。私たちの業務に対する理解や情報を伝えることでより認知され今後の私たちの職業の発展や業務拡大に寄与できればと思います。



荒川河川敷清掃活動「荒川クリーンエイド2018」に参加して

順天堂大学医学部附属順天堂医院 稲毛秀一

平成30年10月28日（日）に北区の荒川岩淵閑水門付近で行われた荒川河川敷清掃活動に参加してきました。この活動は北区役所の道路公園課が毎年行っています。地元の自治会や企業、サッカーチームなどさまざまな団体が参加しています。私の所属している東京都診療放射線技師会第5地区は文京区と北区で構成されており、所属地区の環境保全活動として第5地区のメンバーで集まって毎年参加するようにしています。

当日は非常に天気が良く、少し動くと汗ばむくらいの陽気でした。河川敷にて参加団体ごとに割り当てられた範囲のごみ拾いを行いましたが、一生懸命探さないとゴミが見つからないほどきれいだなという印象を受けました。これは北区や地元の皆さまの

努力の積み重ねによって得られた結果であり、地味な活動でも継続することによって大きな成果を出しているなど感じました。小さなことでもコツコツ続けていくことの大しさを学ぶとともに、晴天の中で非常にすがすがしい気持ちになった清掃活動でした。



中央区健康福祉まつり2018に参加して

松戸市立総合医療センター 宮谷勝巳

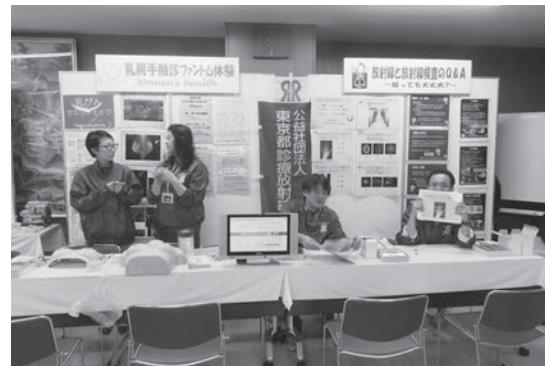
平成30年10月28日（日）午前10時～午後3時まで中央区あかつき公園にて中央区健康福祉まつりが行われました。

参加団体は、福祉関係、医療関係、ボランティアグループなどが集まり盛大に催されました。それぞれのグループが相談コーナーを設けたり、アンケートを行ったり、食べ物の販売をしたりしていました。屋外ステージでは、障害者ダンスや、手話ダンス、シニアサークルのファッションショーなどが行われました。近隣の住民や、車いすの参加者も多く、ステージ前では観客も一緒に踊って楽しんでいました。

東京都診療放射線技師会は2階の室内会場で、1部屋の中に8つのコーナーがあり、その中の一角で放射線クイズと乳房触診体験を行いました。技師会関係

者は11名で運営され、交代で呼びかけを行い、乳房触診体験は59名、クイズコーナーには50名の参加がありました。終了後のみんなの感想は、“本職の仕事よりも疲れた”でした。技師会のコーナーに来た人々は、放射線に多少の興味は持っていたかもしれません、会話を楽しみたい人も多く、病院にかかった時の話や検査を受けた時の話が多かったような気がします。被ばくについての質問はありましたかが高齢の方も多く、気にされている方は少なかった気がします。話し始めると長くなる人が多かった気がします。

どんなかたちでも良いですが、多少は東京都診療放射線技師会の宣伝になったのではないでしょうか。今後も医療関係の一員として参加を継続していければと思いました。



城北支部研修会に参加して

日本医科大学付属病院 菅谷正範

平成30年10月26日に開催された、第17回城北支部研修会に参加させていただきました。講師に住友化学株式会社の研究員である西野信也先生を迎えて、「AI (Artificial intelligence) との上手な付き合い方」のテーマでご講演いただきました。

西野先生はAIを活用した材料研究開発に携わっておられ、文部科学省の卓越研究員にも選出され、世界水準の研究力を活かし日本の科学技術や学術研究、科学技術イノベーションの将来を担うことを期待されている方で、AIとは何なのか、AIとの接点は身近にあり、その活用方法について難しい数式などは用いずに分かりやすく解説いただきました。

近年、GoogleのAlphaGOが世界のトップ棋士に勝利したり、IBMのWatsonがクイズ番組で勝利するなどAIの活躍を耳にする機会が増えてきた実感がありましたが、モノづくりの分野でもマテリアルズ・インフォマティクスという技術により、開発者が望む特性を満たす未知の材料の組み合わせをAIが提案してくれたりと、従来、研究者の知識や勘で設計されていたものがAIを活用することで効率的に設計できるようになってきているそうです。

また、AIは私たちの日常においても画像や音声の認識、Gmailの迷惑メールフィルタリングや自動車の自動運転などに利用されており、先日わが家にやってきたGoogle HomeにもAIが活用されており、すでに私たちの生活に知らず知らずのうちに馴染み、利用している現状を再認識しました。

医療においてもAIは画像診断や創薬の領域と相性が良く、がんの検出や圧縮センシング技術を画像再構成に応用することで、従来より少ない投影データから画像を得る試みもなされており、今後私たちの仕事にAI技術が広がっていくことで診断能を落とさずに検査時間の短縮や放射線被ばくの低減に繋がっていくと考えられました。



また、あるoutputを得るために、真の関数に近い予測モデルを求める必要がありますが、従来は実測データを基に人がルールを想定して作った関数である数理モデルを用います。AIではデータから特徴量を抽出し、それに合うように関数を決定するさまざまなAIモデルを用いることで、従来の技術では実現が難しかったことを可能としています。何でもできそうなAIですが、注意点としてAIがある入力データに対し示した相関は、必ずしも因果関係を明らかにしているわけではない点や、データの無いところは予測（外挿）ができず、解釈性が求められる問題や創造的な作業が得意で、課題設定や活用の用途は人間が考える必要があります。AIが得意な分野は有効に利用し、今後より進化を続けるAIを使いながら、使う側の人間も考える力を身に付けることが大切となってきます。

日々の診療においても、なぜだろう？という気付きや疑問を持ち、さまざまな問題点やデータの見方や集め方などを見直していく中で人間の創造性を高めていくことが、これからAIと上手に付き合うために必要であると考えさせられる有意義な講演でした。

現在、有料のAIツール（高額）や無料のツールも公開されているようなので、興味のある方は利用してみるのも良いかもしれません。

第17回城北支部研修会を終えて

城北支部 高橋克行

最近ネットニュースなどでも面白おかしく取り上げられている“AI”、医療業界の新しいトピック（新ジャンル？）でもある。私が初めて彼らに会ったのはいつだろう。それは意外なことに幼少期までさかのぼってしまう。ブラウン管に映し出された“ドラえもん”そう、彼は“AIを搭載した猫型ロボット”なのである。“AI：人工知能”というのは、ロボットを擬人化したところから始まっているのではないかと、アニメに出てくる出来事に一喜一憂するアンドロイドを思い浮かべていた。その漠然とした印象で“感情的な頭脳”がAIなのだと思っていたが、今回の講演を聴き解くとそうではないようだ。

講演内容を要約（超個人的独自解釈）すると「これまで人間にしかできなかった知的な行為（認識、推論、言語運用、創造など）を、色々なアルゴリズムとデータ（事前情報や知識）を準備して、それを機械的に実行し、答えを得る」となった。現状で活用されているAIは、人間が用意したデータがあってこそものであって、人間が駒となるスポーツの戦術などにはまだ活用できないようだ。

ただ、これは現状の話であって30年後はどうなっているか分からない。AIは世の中にある物質で人間が考え出せなかった物を提案することができる。そうなると本当にいつかはドラえもんが出来るのではないかと素人考えで思ってしまう。ドラえもんのよ

うにある日突然机の引き出しから出てくるわけではなく、その進化の過程をわれわれは共にするわけだが、どのように受け入れ、活用していくのかは本人次第になるのであろう。

のび太君はドラえもんを“大切な友達”と言っていた。私は閉会の挨拶の際に“使ってんだか使われてんだか分かりませんが～”と述べたが“AI”は新たなパートナーなのだ。今後チーム医療に大きく関わってくるであろうニューカマーに期待しつつ少しずつ診療放射線技師として、そして人間として進んでいけたらと思う。西野信也先生、大変貴重なご講演誠にありがとうございました。また、ご参加いただきました皆さま、お忙しい中ご足労頂き誠にありがとうございました。



日本消化器画像診断 情報研究会

第31回
東京大会

さらなる発展を目指して

Next Step For The Future

消化管造影検査

腹部超音波検査

腹部 CT・MRI

VS. 読影

CTC ハンズオン

etc...



2019年
4月20・21土・日
開催

【会場】タワー ホール 船堀

東京都江戸川区
船堀 4-1-1

大 会 長 鶴田 恭央 東京医科大学病院予防医学健診センター
実行委員長 安藤 健一 東京労働者医療会東葛病院

事前登録は東京大会HPから可能です
<http://nsk24thtokyo.kenkyuukai.jp/>



詳しくは東京大会HPをご覧ください

*日本消化器がん検診学会 胃がん検診専門認定技師制度、資格更新のための2点が付与されます。

*日本X線CT専門技師認定機構 単位認定講習会として講師(演者)1単位、受講者6単位が付与されます。

会員動向

平成30年度4月～11月期

年 月	月末会員数	新 入	転 入	転 出	退 会
平成29年度末集計	2,163	180	24	18	100
平成30年 4月	2,165	7	3	5	3
平成30年 5月	2,208	45	2	2	2
平成30年 6月	2,225	21	2	3	3
平成30年 7月	2,253	25	4	0	1
平成30年 8月	2,273	21	2	2	1
平成30年 9月	2,281	13	4	3	6
平成30年10月	2,305	26	1	0	3
平成30年11月	2,313	8	1	0	1

医療スタッフ随時募集中!!

診療放射線技師・看護師・保健師・臨床検査技師・薬剤師・歯科衛生士・管理栄養士

当社は、これまで数多くの病院・医療機関より要請を承っております。
勤務の内容や時間帯、単発的なアルバイトや転職など、皆さまのご希望にあわせて
お仕事をご紹介致します。

医療スタッフは、随時募集しております。ご友人、お知り合いの紹介も随時受け付けております。

☆ まずはお気軽にご連絡下さい。詳しくご案内させて頂きます。

☆ ご登録・ご相談は無料です。

☆ 健診や外来での撮影業務等、単発からございます。

☆ 受付時間 平 日 9:00 ~ 18:00

株式会社ジャパン・メディカル・ブランチ

フリーダイヤル 0120-08-5801

〒134-0088 東京都江戸川区西葛西6丁目17番5号 FAX:03-3869-5802

E-mail:info@jmb88.co.jp URL: http://www.jmb88.co.jp

一般労働者派遣事業許可:派13-301371 有料職業紹介事業許可:13-ユ-130023

イエローーケーキ

初めての一人旅

後輩から聞いた「御朱印」に興味を持ち、ここ数年、旅行を兼ねて全国の寺社を巡るようになった。近所の寺社であれば一人で回ることもある。今年の夏休みもその予定だったが、家族・友人、誰とも予定を合わせることができなかった。その時、ふっと「そうだ！ 一人旅に出てみよう！！」と思いついた。早速スマホで調べ、電車・バスを使い一人で動けそうな場所を検索し、伊勢神宮へ行くことにした。私はラーメン屋・居酒屋に一人で入れるタイプなので、「まあ、平気でしょ」と簡単なノリだった。いよいよ当日「いざ伊勢神宮へ」という気合を込め、東京駅より新幹線で出発。新幹線に乗る際のルーチンは缶ビールを飲むこと。もちろんルーチンをこなしたが一人のためかちょっと酔いが回っていた。名古屋駅で乗り換え伊勢市駅まで行った。天気は青空というか、猛暑で驚いた。新幹線のビールを少々後悔していた。伊勢市駅には観光案内所があり、その方に外宮から内宮を参拝するのがルールだと教わったので外宮へと向かった。外宮での参拝後、内宮へ向かうためバスに乗車したが、途中で猿田彦神社に停車すると案内があり、そこで下車することにした。この神社には古殿地と記された十干十二支が刻まれている石、いわゆるパワースポットがあり目的により触る順番があるようだ。こちらで御朱印を頂きいよいよ内宮へと向かった。内宮は外宮よりも広く、見どころだらけで時間が過ぎるのを忘れてしまうほどだった。日も暮れ始めたのでホテルへ向かおうとおはらい町通りを歩いていくと、左手におかげ横丁が見えてきた。ここは江戸時代から明治時代初期の伊勢の商店街をイメージして造られているためレトロな雰囲気だった。近くには五十鈴川が流れていた。空はやや日が落ちていたがまだ青く、川はキラキラと光を帯び、溜まっていた疲れが吹き飛ぶ程の美しさに感動した。その日の夜、ホテルで松坂牛を食べ、美味しい日本酒を飲み大満足だったが、私一人だけで贅沢をした罪悪感もほんの少しだけ感じて旅は終了した。

今回、初めて一人旅に出てみたが、当初はこんな私でも不安があった。が、思い切って旅に出て良かったと思っている。自分の気の向くままに動く自由さが普段生活している中にはあまりないことなのでリフレッシュすることができた。何だか癖になりそうな気がする。今は次回の一人旅を計画中である。

sachy

News

1月号

日 時：平成30年11月1日（木）
午後6時45分～午後7時20分
場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所
出席理事：篠原健一、白木 尚、石田秀樹、江田哲男、
鈴木雄一、野口幸作、関 真一、高野修彰、
平瀬繁男、工藤年男、高橋克行、市川篤志、
原子 満、宮谷勝巳、鮎川幸司、渡辺靖志
出席監事：葛西一隆、野田扇三郎
指名出席者：増田祥代（第1地区委員長）、関谷 薫（第2地区委員長）、目黒一浩（第4地区委員長）、稻毛秀一（第5地区委員長）、富丸佳一（第7地区委員長）、三富 明（第8地区委員長）、澤田久恒（第10地区委員長）、千葉利昭（第11地区委員長）、雨宮広明（総務委員）、新川翔太（総務委員）
欠席理事：市川重司、長谷川雅一、浅沼雅康（議事終了後に参加）、安宅里美（議事終了後に参加）
議 長：篠原健一（会長）
司 会：石田秀樹（副会長）
議事録作成：新川翔太

前回議事録確認

前回議事録について確認を行ったが修正意見はなかった。

理事会定数確認

出席：16名、欠席：4名

会長挨拶

今年もあと2カ月となった。この時期になると行政まつりが数多く行われるが、皆さまのご協力のおかげで滞りなく進んでいる。また今週、来週末と行政まつりが予定されているので、地区や支部の方だけでなく数多くの皆さまに来ていただきたい。今週から来年の関東甲信越学術大会のホームページが公開となった。何かご意見等ございましたら報告していただきたい。また、3年後の日本診療放射線技師学術大会およびAACRT (Asia-Australasia Conference of Radiological Technologists) に東京都が立候補しているが、その会場候補として東京ビッグサイトに決定した。10月28日に中間監査が行われ、監事の先生方に事業や予算の執行状況を確認していただいた。今後は次年度の事業に向けて準備を進めてまいりたいので、皆さまのご協力をお願いしたい。

報告事項

1) 会長

篠原会長

・10月13日に行われた、日本診療放射線技師会第6回理事会での中澤会長の3つのお話について報告する。
1つめは、技師養成学校のカリキュラムの検討事項に

関してである。まずカリキュラムの単位数が増えるにあたり、画像診断学の導入についてである。現状では、導入に関して医学放射線学会から反対の声が上がっている。ただ、理学療法士など他の職能団体では画像診断学を導入する動きがあるため、日本診療放射線技師会として導入を推進するため厚生労働省の中にワーキンググループを発足した。また、臨床実習を現在の見学型ではなく、参加型に変えていきたいとのことであった。過去の指定規則では、臨床実習や教育等に関する器具や備品等が現状とそぐわない点があったため、今後見直していきたいとのことであった。2つめは、放射線機器の保守実態調査に関してである。全国的には調査への参加施設が減少しており、今後も引き続きわれわれの調査に協力していただきたいとのことであった。3つめは医療被ばく低減施設認定についてである。各都道府県に3施設以上が診療報酬加算の条件である。厚生労働省の中に委員会が設置され、7回ほど会合が行われた。また先日、法改正が行われ、被ばく線量の記録が義務化されたことに関して、皆さまのさらなるご理解とご協力をいただきたいとのことであった。

2) 副会長

白木副会長

・10月20日に日本放射線技術学会東京支部との合同シンポジウムの打ち合わせがあり、内容の検討を行った。テーマは、教育（東京都診療放射線技師会）研究（日本放射線技術学会東京支部）で、シンポジストおよび座長を各1名輩出して開催する予定。

石田副会長

・活動報告書に追加なし。

3) 専門部委員会報告

江田厚生調査委員長

・災害寄付金に関して、集まった11,343円を10月末日に日本診療放射線技師会に送金したことを報告する。

4) 各委員会報告

・活動報告書に追加なし。

5) 地区委員会報告

平瀬第3地区委員長

・城西支部研修会に関して、皆さまのご協力で75名の参加をいただいた。この場をお借りして感謝申し上げたい。

6) 中間監査報告

葛西監事より、法令および定款に基づき法人の状況を正しく示していること。また理事の職務、遂行に関する不正の行為、また法令、もしくは定款に反する事実は認められないことの報告をしていただいた。

野田監事より平成30年4月1日から9月30日までの決算書類およびその付属明細書ならびに財産目録は、法人の財産の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めるとの報告をいただいた。

7) その他

・活動報告書に追加なし。

議 事

1) 事業申請

①第83回日暮里塾ワンコインセミナー

テーマ：学術教育が選んだ発表演題（新入会促進セミナー）

日 時：平成31年1月17日（木）18時30分～20時30分

場 所：東京都診療放射線技師会研修センター

上記について審議した。

【承認：16名、保留：0名、否認：0名】

②第17回ウインターセミナー

テーマ：病室撮影（ポータブル撮影）の現状

日 時：平成31年1月26日（土）15時00分～17時30分

場 所：コニカミノルタジャパン（株）

上記について審議した。

【承認：16名、保留：0名、否認：0名】

③第11回MRI集中講習会

テーマ：第11回MRI集中講習会

日 時：平成31年2月3日（日）13時00分～18時10分

場 所：東京都診療放射線技師会研修センター

上記について審議した。

【承認：16名、保留：0名、否認：0名】

④病院施設見学（第14地区）

テーマ：病院施設見学、放射線設備見学

日 時：平成31年2月16（土）15時00分～17時00分

場 所：松戸市立総合医療センター

上記について審議した。

【承認：16名、保留：0名、否認：0名】

⑤平成30年度第8地区研修会

テーマ：その照射野は細胞に何をもたらすのか

日 時：平成31年2月23日（土）16時00分～17時30分

場 所：東邦大学医療センター大森病院 臨床講堂

上記について審議した。

【承認：16名、保留：0名、否認：0名】

⑥平成30年度第5地区研修会

テーマ：3次救急施設における診療放射線技師の業務

日 時：平成31年3月1日（金）19時00分～20時00分

場 所：東京都診療放射線技師会研修センター

上記について審議した。

【承認：16名、保留：0名、否認：0名】

⑦平成30年度SR推進委員会研修会

テーマ：緊急被ばく医療研修会（3.11の経験とその後の対応を踏まえて）

日 時：平成31年3月10日（日）13時00分～16時30分

場 所：東京都診療放射線技師会研修センター

上記について審議した。

【承認：16名、保留：0名、否認：0名】

2) 消化管CT技術研究会後援申請について

鈴木総務委員長：日本消化管画像診断情報研究会より後援申請をいただいた。

上記について審議した。

【承認：16名、保留：0名、否認：0名】

3) 第7回首都圏消化器画像技術研究会後援申請について

鈴木総務委員長：首都圏消化管画像技術研究会より後援申請をいただいた。

上記について審議した。

【承認：16名、保留：0名、否認：0名】

4) 新入退会について

10月：新入会26名、転入1名、退会3名

上記について審議した。

【承認：16名、保留：0名、否認：0名】

地区質問、意見

第15地区

・次年度から委員新任変更申請を4月・11月の理事会申請とすることは可能でしょうか？ 地区委員所属の関

連施設間人事異動が毎年10月に行われるため、委員新任変更申請が間に合わなかった。任期を理解し地区委員を委嘱していただいているが、今回、1施設3名の地区委員体制となってしまった。体制を見直し、次回3月までに地区活動に1名新しい方に加わっていたくことにしたいと考えている。そこで、正式に地区委員となるまでの期間、交通費申請が可能であるか？審議の程宜しくお願ひ申し上げる。

篠原会長：現状では委員新任変更申請は年2回という取り決めになっている。各地区の都合で時期を変更するというのは難しい。現行通りということでご理解いただきたい。

野口庶務委員長：正式に地区委員となるまでの期間は、指名出席者ということにすればよいのではないか。

連絡事項

1) 各専門部からの連絡事項

安宅情報委員長：2019年の関東甲信越学術大会のホームページが公開となったので皆さんにご覧いただきたい。

高野涉外委員長：小野賞の歴代の受賞者のリストを資料に添付した。来年2月の理事会を目処に推薦をしていただきたい。用紙は12月の理事会で資料として添付

する予定である。

2) その他

原子第15地区委員長：11月22日に第15地区研修会が行われる。テーマは一般撮影のパラメータについてである。お時間がある方は参加をお願いしたい。

石田副会長：行政まつりとしてOTAフェスタや東村山市民健康のつどい等が開催されるので、皆さまのご参加をお願いしたい。

野口庶務委員長：第37回日本診療放射線技師学術大会の東京都立候補に関して、開催日時は2021年11月12日から14日まで、会場は東京ビッグサイトである。日本診療放射線技師会への資料として会場のアクセスマップやレイアウト、見積もりおよび宿泊施設のリストを提出する。

鮎川第13地区委員長：多摩放射線技師連合会総会が11月30日行われる。皆さまのご参加をお願いしたい。

3) 今後の予定について（総務委員会）

鈴木総務委員長：12月8、9日の役員研修会の出欠の入力を早急にお願いしたい。最終期限は11月16日までとする。また今回の議事録と同時に添付する予定であるが、次年度の事業計画案を立てていただきたい。改めて昨年度の事業計画案を添付するので、12月8日の理事会までに送付していただきたい。

イエローーケーキ

願いを漢字に

新年明けましておめでとうございます。

平成29年6月に「天皇の退位等に関する皇室典範特例法」、同年12月には同法の施行期日を平成31年4月30日とする政令が公布され、今年の5月からは慣れ親しんだ平成から新しい元号へと変わります。元号は、有識者が数候補を提案し、その中から閣僚など関係者が協議して絞り込むようです。昭和から改元される際は、「平成」のほかに「修文」「正化」の3つが最終候補に挙がったと言われています。お気づきの方もいると思いますが、「修文」と「正化」はアルファベットの頭文字が“S”となり、「昭和」と重なってしまう不都合についても検討されたのではないかと想像します。

元号の候補には、「漢字2文字」、「書きやすい、読みやすい」などのほかに、その漢字の意味も考えられているようです。ちなみに平成には「国内外、天地とも平和が達成される」という意味があるそうです。

将来への希望を込めた皆さまの「漢字2文字」はどのような文字でしょうか。改元を迎えるにあたり考えてみるのもいいですね。

会員皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

S・R

学術講演会・研修会等の開催予定

日時、会場等詳細につきましては、会誌でご案内しますので必ず確認してください。

平成30年度

1. 学術研修会

☆第17回ウインターセミナー 平成31年1月26日(土)

☆2. 日暮里塾ワンコインセミナー

第83回日暮里塾ワンコインセミナー 平成31年1月17日(木)

3. 集中講習会

第11回MRI集中講習会 平成31年2月3日(日)

☆4. 支部研修会

城南支部研修会 平成31年1月12日(土)

多摩支部研修会 平成31年3月8日(金)

5. 地区研修会

第3地区研修会 平成31年1月29日(火)

第14地区研修会 平成31年2月16日(土)

第12地区研修会 平成31年2月22日(金)

第8地区研修会 平成31年2月23日(土)

第4地区・第16地区合同勉強会(SART第2地区との合同開催) 平成31年2月24日(日)

第5地区研修会 平成31年3月1日(金)

第6地区meeting 平成31年3月2日(土)

6. SR推進

SR推進委員会研修会 平成31年3月10日(日)

7. 地球環境保全活動

荒川河川敷清掃活動

日暮里駅前清掃活動

関連団体

平成30年度第3回関東Angio研究会(第5回ステップアップセミナー) 平成31年1月12日(土)

平成30年度第5回業務拡大に伴う統一講習会 平成31年1月26日(土)～27日(日)

平成30年度第6回業務拡大に伴う統一講習会 平成31年3月2日(土)～3日(日)

日本消化器画像診断情報研究会 第31回東京大会 平成31年4月20日(土)～21日(日)

☆印は新卒かつ新入会 無料招待企画です。

(新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう)

希望を、明日につなげる。

難しい症例にも対応する「技術力」と、
患者の皆様の負担を減らす「やさしさ」。
日立は、放射線治療によるサポートで、
すべての方の充実した生活に、豊かな人生に、
貢献を続けていきます。



HITACHI
Inspire the Next

放射線治療計画ソフトウェア
RayStation

The Future of Treatment Planning is here
3D-CRT, IMRT, VMAT, Adaptive Radiation Therapyまで斬新で高度な最適化機能により幅広い放射線治療を実現します。



放射線治療装置
Radixact™

線量出力とMVCT撮影時のガントリ回転周期向上により、患者スループット向上を実現。天板のたわみを抑制し、正確な平行移動を可能にした他、輪郭作成機能を大幅に強化しました。

販売名: 放射線治療計画ソフトウェア RayStation
医療機器承認番号: 22900BZ10014000
外国製造医療機器等特別承認取得者: RaySearch Laboratories AB
運送外国製造医療機器等製造販売業者: 株式会社日立製作所



陽子線治療システム
PROBEAT-RT

スポットスキャニング照射に特化。また動体追跡照射により、体幹部の呼吸移動性臓器へ高精度な照射を実現。システム全体の設置面積を、従来製品[®]の約7割に縮小しています。

販売名: ラディオザタ
医療機器承認番号: 22900BZ10032000
製造販売元: 日本アキュレイ株式会社

Innovating Healthcare, Embracing the Future
© 株式会社 日立製作所 www.hitachi.co.jp/healthcare

Canon

究
[K i w a m i]

匠
[T a k u m i]



Vantage Galan™ 3T

認証番号: 228ADBZX00066000

画力、速力、究めて。
魅せるMRI
Vantage Galan 3T

テーマは、「究」「匠」「和」。
「究の質」を追求した先鋭の高画質。
新技術PURERFによりSNRが20%
向上、高精細な画像を可能にします。
さらに、撮像から解析までをアシ
ストする豊富なアプリケーション
は、臨床の世界を広げます。
省エネ・省スペースを叶えた
「匠の技」。

広い開口部と静音化技術により、
患者さんがリラックスして検査を
受けられる「和の空間」。

日本の技術の粹と心を尽くした
3テスラMRIの世界が現れます。

キヤノンメディカルシステムズ株式会社 <https://jp.medical.canon>

東芝メディカルシステムズ株式会社は、2018年1月に「キヤノンメディカルシステムズ株式会社」へ社名変更いたしました。

Made For life

公益社団法人 東京都診療放射線技師会 研修会等申込書

研修会名	第 回	
開催日	平成 年 月 日() ~ 月 日()	
会員/非会員 (必須)	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員 <input type="checkbox"/> 一般 ※ 日放技会員番号(必須) [] <input type="checkbox"/> 新卒かつ新入会の方はチェック	
所属地区	第 地区 または 東京都以外 [] 県	
ふりがな		
氏名		
性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性	
連絡先	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 施設 ⇒ 施設名 []	
	TEL (必須)	
	FAX	
	メール (PCアドレス)	
備考		

FAX 03-3806-7724
公益社団法人 東京都診療放射線技師会 事務所

登録事項変更届

公益社団法人東京都診療放射線技師会 殿

公益社団法人日本診療放射線技師会 殿

会員番号			
氏名	印		
氏名(カタカ)			
性別	男性・女性		
生年月日	昭和	平成	年 月 日生
メールアドレス			

下記のとおり、登録事項の変更をお願い申し上げます。

氏名の変更

改姓(変更後の氏名)

送付先変更

現在の送付先	勤務先・自宅
新送付先	勤務先・自宅

住所等の変更

新勤務先	勤務先名	部署
	勤務先所在地	〒 一
	電話	
旧勤務先		
新自宅	現住所	〒 一
	電話	
旧自宅住所		

その他

通信欄	
-----	--

受付
確認平成 年 月 日
平成 年 月 日 印

Postscript

ある編集委員会の時のこと、群馬に転勤になった委員人がお茶請けにあらわれを買ってきてくれました。地元で有名なお店のものだそうで、そのあらわれは一つずつ個別に包装されていて、それぞれが七福神の絵柄になっていました。とても愛らしく、みんなで美味しくいただいたことがあります。

七福神—庶民の身边にあって暮らしに幸運をもたらす七柱の福の神「七福神」が、現在のような形で人々に定着したのは江戸時代中頃のこと。浮世絵にも宝船に乗った七福神が描かれ、正月には初詣を兼ねての七福神詣でが庶民の間で盛んに行われました。それまでは三福神だったり五福神だったり、神々も一定ではなかったが、享和年間(1801~3)には恵比寿、大黒天、毘沙門天、弁財天、布袋尊、福禄寿、寿老人と、今の顔ぶれに落ち着いたといいます。実はこの七柱のうち恵比寿を除いて六柱はインドや中国など海の向こうからやってきた神々で、国際色豊かというかエキゾチックなメンバー構成なのだそうです。

恵比寿:七福神中、唯一純国産の神で、鳥帽子に狩衣、釣り竿と魚籠を持ち、立派な鯛を抱えた姿で描かれる。古くは漁民の守護神だったが、後に商いの神に。大黒天と対で福の神として、庶民の信仰を集め。ご利益は、主に大漁豊作、商売繁盛。

大黒天:もともとは、マハーカーラと呼ばれるヒンドゥー教の神で、創造と破壊を司るシヴァ神の化身。打ち出の小槌と大きな袋を持ち、米俵と白鼠を従えた姿で描かれる。ご利益は五穀豊穣、家産増進、子孫繁栄。

毘沙門天:四天王の一神で、財宝の象徴である北方の守護神。ルーツはヒンドゥー教の神で、仏教とともに伝えた。甲冑を着けて矛と宝塔を持ち、邪鬼を踏む姿で描かれる。古くは武運の神として上杉謙信ら戦国武将の信仰を集め。厄除けや恵方の神であり、財運を授け、大願成就を助けるとされる。

弁財天:七福神中、唯一の女神。サラバティ櫻な例と呼ばれるインド古代神話の水神で、ヒンドゥー教では梵天の妃。琵琶を奏でる絶世の美女の姿で描かれることが多い。水の流れる妙音から音楽、弁舌を司るとされ雄弁と智慧を授け、芸能、学問の分野での成功や名誉を与えるとされる。金運、財運をもたらすともされる。

布袋尊:七福神中、唯一の実在人物。中国の戦国時代の禅僧で名を契此といい、諸国を放浪して預言、託宣を行い、優れた予知能力から弥勒菩薩の化身とされた。福々しい笑顔と太鼓腹、肩に下げた大きな袋が特徴。この袋は喜捨物を入れる袋だが堪忍袋ともいわれ、人格を円満に導く功德ありとされる。評知と和合金運招福の神。

寿老人:中国の道教の神で南極星の化身。白髪に頭巾、白く長い髭をたくわえ、經典をついた杖と桃を持つ姿で描かれる。鹿を伴って描かれることも多い。桃も鹿も長寿の象徴とされ、健康、長寿を授ける仙人である。ご利益は長寿延命、諸病平癒、富貴繁栄、子孫繁栄など。「元気で長生き」という現代に求められるテーマにぴったりの神。

福禄寿:寿老人同様、道教の神で南極星の化身とされる。身長の約半分を占める長い頭と長い白髭が特徴。杖をつき、長寿の象徴である鶴や亀を従えた姿でも描かれる道教の三徳、福(子孫繁栄)、禄(財産)、寿(健康長寿)を備え、人の寿命を知るとされる。ご利益は子孫繁栄、富貴繁栄、健康長寿。

このように七福神は、インド、中国、日本のさまざまな神様からなります。日本では生まれも育ちも違う神様たちが、力を合わせて人びとに福を授けると考えられたといわれています。この七福神を一月一日から七日までの松の内の間に参拝し、平安安泰で豊かな生活を望んで、七福神の神様たちにお願いをして歩く、というのが七福神巡りです。

昨今の神社仏閣ブームや御朱印ブームに乗ったわけではないのですが、私も数年前に七福神巡りをしたことあります。単なる思い付き、都内の近場で、といったことから東京放送技術事務所に近い「谷中七福神巡り」をしました。その時は、東京でも人気のコースとは知らず、一般的には一月七日までと言われているところ、思い立ったのが一月十日だったこともあり、この日まで開かれているとのことで巡ってきました。日中の柔らかな日差しの中を歩いて、台紙に七福神巡りの御朱印が押されていくのが楽しかったのを憶えています。その台紙は今でも我が家に飾ってあり、家族を見守ってくれています。

七福神にあやかって、皆さんにとりましても、この1年が良い年となりますように。

■ 広告掲載社

富士フィルムメディカル(株)
コニカミノルタジャパン(株)
キヤノンメディカルシステムズ(株)
株式会社マエダ
(株)ジャパン・メディカル・ブランチ
(株)日立製作所

東京放射線 第66巻 第1号

平成30年12月25日 印刷 (毎月1回1日発行)

平成31年1月1日 発行

発行所 東京都荒川区西日暮里二丁目22番1 ステーションプラザタワー505号

〒116-0013 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

発行人 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

会長 篠原健一

編集代表 浅沼雅康

振替口座 00190-0-112644

電話 東京 (03) 3806-7724 <http://www.tart.jp/>

事務所 執務時間 月曜~金曜 9時30分~17時00分

案内 ただし土曜・日曜・祝日および12月29日~1月4日は執務いたしません

電話・FAX (03) 3806-7724

編集スタッフ

浅沼雅康

内藤哲也

岩井譜憲

森美加

高橋克行

田沼征一